

一般演題プログラム (ワークショップ・口演)

※本号 (()) 内のページ数を掲載しております。

ワークショップ				プログラム／抄録	
11月27日(水)	WS1	老化・動物モデル	13:30～14:30	P.51	P.203
11月28日(木)	WS2	構造と変異	14:00～15:15	P.52	P.205
口演				プログラム／抄録	
11月27日(水)	01	検査・相談 1	9:00～9:40	P.53	P.208
	02	検査・相談 2	9:40～10:30	P.53	P.210
	03	抗HIV療法 1	10:30～11:20	P.54	P.212
	04	薬剤師・薬局	10:40～11:30	P.55	P.215
	05	抗HIV療法 2	11:20～12:10	P.55	P.217
	06	副作用	11:30～12:10	P.56	P.220
	07	免疫再構築症候群	13:30～14:10	P.57	P.222
	08	日和見感染 1	13:30～14:10	P.57	P.224
	09	日和見感染 2	14:10～14:50	P.58	P.226
	010	免疫・ワクチン	14:40～15:40	P.58	P.228
	011	悪性腫瘍	15:20～16:10	P.59	P.230
	012	抗ウイルス剤	15:45～16:33	P.60	P.233
	013	PEP/nPEP/PrEP	16:10～16:40	P.60	P.235
	014	薬剤耐性	16:40～17:28	P.61	P.236
11月28日(木)	015	生活習慣病 1	10:40～11:40	P.61	P.238
	016	STI・STD	11:00～11:50	P.62	P.241
	017	MSM	11:00～11:40	P.63	P.244
	018	生活習慣病 2	11:40～12:30	P.64	P.246
	019	歯科	11:50～12:30	P.64	P.248
	020	HIV 予防	11:40～12:30	P.65	P.250
	021	看護	14:00～14:50	P.66	P.253
	022	HIV 感染症一般・その他 1 (HAND・透析)	14:00～14:40	P.66	P.255
	023	歯科診療	14:00～14:40	P.67	P.257
	024	母子感染	14:50～15:30	P.67	P.259
	025	HIV 感染症一般・その他 2 (医療体制)	14:40～15:20	P.68	P.261
	026	陽性者支援	14:40～15:30	P.68	P.263
	027	HIV 感染症一般・その他 3 (検査)	15:40～16:20	P.69	P.266
	028	長期療養	15:40～16:20	P.69	P.268
	029	アクセサリー遺伝子	17:00～17:36	P.70	P.270
	030	薬剤耐性	16:40～17:30	P.71	P.271
	031	宿主因子	17:36～18:12	P.72	P.274
	032	メンタルヘルス・薬物使用	17:30～18:30	P.72	P.275
	033	リザーバー・プロウイルス	18:12～19:00	P.73	P.278
	034	情報提供・性行動	18:40～19:30	P.74	P.280
11月29日(金)	035	服薬アドヒアランス	9:00～9:40	P.74	P.283
	036	医療体制・連携	9:00～9:50	P.75	P.285
	037	症例報告	9:00～10:00	P.76	P.287
	038	臨床薬理	9:40～10:20	P.76	P.290
	039	医療者教育・支援	9:50～10:30	P.77	P.292
	040	肝炎	10:00～10:50	P.77	P.294

■日時：11月27日(水) 13:30～14:30

■会場：第3会場

(熊本城ホール 3F 大会議室 A4)

WS1 老化・動物モデル

座長 鈴 伸也

(熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

山本拓也

(医薬基盤・健康・栄養研究所)

WS1-1 慢性 HIV 感染における腸内細菌叢の変容

石坂 彩^{1,2)}、古賀道子¹⁾、
Parbie Prince Kofi⁴⁾、
Prawisuda Diki¹⁾、千光寺智恵¹⁾、
久保田めぐみ¹⁾、菊地 正³⁾、安達英輔³⁾、
鯉淵智彦³⁾、水谷壮利^{1,2)}、俣野哲朗^{2,4)}、
四柳 宏^{1,3)}

- 1) 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
- 2) 東京大学医科学研究所 国際粘膜ワクチン開発研究センター
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科
- 4) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

WS1-2 HIV 感染における T 細胞老化と DNA メチル化による発現制御

立川(川名)愛¹⁾、細谷(中山)香¹⁾、関 真秀²⁾、
堀内映美²⁾、古賀道子³⁾、四柳 宏^{3,4)}、
吉村幸浩⁵⁾、鈴木 穰²⁾、俣野哲朗¹⁾

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻生命システム観測分野
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 4) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野
- 5) 横浜国立大学市民病院 感染症内科

WS1-3 機能的治癒を目指した SIV 潜伏感染 cART モデルの構築

高濱正吉¹⁾、升田雄士^{1,3)}、岡村智崇²⁾、
保富康宏²⁾、山本拓也^{1,3,4)}

- 1) 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 免疫老化プロジェクト
- 2) 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医科学研究センター
- 3) 大阪大学大学院 薬学研究科 免疫老化制御学分野
- 4) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

WS1-4 HIV-1 潜伏感染霊長類モデルにおける HIV 複製リザーバーの定量解析とその意義

関 洋平¹⁾、齊藤 暁¹⁾、原田恵嘉²⁾、
村田めぐみ¹⁾、鷺崎彩夏¹⁾、引地優太²⁾、
吉村和久²⁾、石井 洋²⁾、佐藤賢文³⁾、
Islam M Saiful³⁾、大出裕高⁴⁾、岩谷靖雅^{4,5)}、
芳田 剛¹⁾、保富康宏⁶⁾、俣野哲朗²⁾、
三浦智行⁷⁾、明里宏文^{1,7)}

- 1) 京都大学霊長類研究所
- 2) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 3) ヒトレトロウイルス学共同研究センター熊本大学キャンパス
- 4) 国立病院機構名古屋医療センター・臨床研究センター
- 5) 名古屋大学大学院医学系研究科
- 6) 医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医科学研究センター
- 7) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所

■日時：11月28日(木) 14:00～15:15

■会場：第3会場

(熊本城ホール 3F 大会議室 A4)

WS2 構造と変異

座長 門出和精

(熊本大学大学院生命科学研究部微生物学分野)

岩谷靖雅

(名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部)

WS2-1 HIV-1 カプシド “disorder” 領域の構造機能解析

小谷 治¹⁾、駒 貴明²⁾、宮川 敬³⁾、
梁 明秀³⁾、横山 勝¹⁾、土肥直哉²⁾、
足立昭夫⁴⁾、野間口雅子²⁾、佐藤裕徳¹⁾

1) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター

2) 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 微生物病原学分野

3) 横浜市立大学 医学部 微生物学教室

4) 関西医科大学 微生物学講座

WS2-2 HIV-1 core morphology assessment using single virion imaging based on FRET

Anamaria Daniela Sarca¹⁾、
Hirofumi Fukuda¹⁾、
Kotaro Shirakawa¹⁾、
Kazuki Horikawa²⁾、Taisuke Izumi¹⁾、
Akifumi Takaori-Kondo¹⁾

1) Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan

2) Division of Bioimaging, Institute of Health Biosciences, University of Tokushima Graduate School

WS2-3 ヒト抗 HIV-1 蛋白質 APOBEC3G の構造生物学研究—これまでの成果の概況と今後の展望—

河野隆英¹⁾、Reuben Harris¹⁾、相原秀樹¹⁾、
松尾 浩²⁾

1) ミネソタ大学

2) National Institute of Health

WS2-4 抗 HIV-1 因子 APOBEC3H における多型変異 R105G の分子構造への影響

大出裕高¹⁾、中田佳宏^{1,2)}、松岡和弘¹⁾、
今橋真弓¹⁾、蜂谷敦子¹⁾、横幕能行¹⁾、
岩谷靖雅^{1,2)}

1) 国立病院機構名古屋医療センター

2) 名古屋大学大学院医学系研究科

WS2-5 PPT 領域内ドルテグラビル耐性関連変異のウイルス末端配列への影響

蜂谷敦子¹⁾、久保田舞¹⁾、大出裕高¹⁾、
山森玲奈²⁾、田中靖人²⁾、重見 麗¹⁾、
岡崎玲子¹⁾、松田昌和¹⁾、今橋真弓¹⁾、
Karen A. Kirby³⁾、
Stefan G. Sarafianos³⁾、横幕能行¹⁾、
岩谷靖雅¹⁾

1) (独) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター

2) 名古屋市立大学 医学研究科 ウイルス学分野

3) Laboratory of Biochemical Pharmacology, Department of Pediatrics, Emory University School of Medicine

■日時：11月27日（水）9:00～9:40

■会場：第4会場

（熊本城ホール3F 中会議室B1-B3）

001 検査・相談1

座長 川畑拓也

（（地独）大阪健康安全基盤研究所 微生物部ウイルス課）

本間隆之

（山梨県立大学看護学部）

001-001 ダイナスクリーン・HIV Combo 抗原偽陽性事例の検討

川畑拓也¹⁾、砂山智子²⁾、山田香保理³⁾、森川哲也⁴⁾、阪野文哉¹⁾、森 治代¹⁾

1)（地独）大阪健康安全基盤研究所微生物部ウイルス課

2) アリーア メディカル株式会社 感染症領域マーケティング部

3) アリーア メディカル株式会社 テクニカル部

4) アリーア メディカル株式会社 品質システム部

001-002 IC 法の確認検査としての Geenius HIV1/2 キットの有用性の検討

貞升健志¹⁾、長島真美¹⁾、北村有里恵¹⁾、熊谷遼太¹⁾、松岡佐織²⁾、今村顕史³⁾、新開敬行¹⁾、千葉隆司¹⁾、吉村和久¹⁾

1) 東京都健康安全研究センター微生物部

2) 国立感染症研究所

3) 東京都立駒込病院

001-003 全国から弊社に依頼された HIV 検査の集計結果 ～2003年～2018年～

渡辺薫子、斎藤絵馬、飯田慶治、速永 淳

株式会社エスアールエル 感染免疫部

001-004 HIV 郵送検査に関する実態調査(2018)

須藤弘二¹⁾、佐野貴子²⁾、近藤真規子²⁾、今井光信³⁾、今村顕史⁴⁾、加藤真吾¹⁾

1) 株式会社ハナ・メディテック

2) 神奈川県衛生研究所 微生物部

3) 田園調布学園大学

4) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

■日時：11月27日（水）9:40～10:30

■会場：第4会場

（熊本城ホール3F 中会議室B1-B3）

002 検査・相談2

座長 岩橋恒太

（特定非営利活動法人 akta）

貞升健志

（東京都健康安全研究センター微生物部）

002-005 保健所・検査所における HIV 検査・相談体制と実施状況および課題に関するアンケート調査

土屋菜歩¹⁾、佐野貴子²⁾、近藤真規子²⁾、カエベタ亜矢³⁾、関なおみ⁴⁾、城所敏英⁵⁾、根岸 潤⁶⁾、堅多敦子⁷⁾、川畑拓也⁸⁾、貞升健志⁹⁾、須藤弘二¹⁰⁾、加藤真吾¹⁰⁾、大木幸子¹¹⁾、生島 嗣¹²⁾、今井光信¹³⁾、今村顕史⁷⁾

1) 東北大学東北メディカル・メガバンク機構

2) 神奈川県衛生研究所

3) 新宿区保健所

4) 豊島区池袋保健所

5) 東京都南新宿検査・相談室

6) 東京都福祉保健局

7) がん・感染症センター都立駒込病院

8) 地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所

9) 東京都健康安全研究センター微生物部

10) 慶應義塾大学医学部

11) 杏林大学保健学部

12) 特定非営利活動法人 ふれいす東京

13) 田園調布学園大学

002-006 東京都南新宿検査・相談室における HIV 検査相談の取り組みについて～3年間（2016年～2018年）における受検者へのカウンセリングの推移から今後の課題を検討する～

矢永由里子^{1,2)}、今井朋実¹⁾、川畑貴子¹⁾、小沼和広¹⁾、櫻井具子^{1,3)}、角田洋隆¹⁾、宮腰辰男¹⁾、城所敏英¹⁾

1) 東京都南新宿検査・相談室

2) 慶應義塾大学医学部感染制御センター

3) 遠藤嗜癪問題相談室

002-007 MSM に向けた HIV 検査相談会「快速あんしん検査上野駅」3 年間の取り組み

本間隆之¹⁾、岩橋恒太²⁾、生島 嗣³⁾、
貞升健志⁴⁾、長島真美⁴⁾、市川誠一⁵⁾、
今村顕史⁶⁾

- 1) 山梨県立大学看護学部
- 2) 特定非営利活動法人 akta
- 3) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 4) 東京都健康安全研究センター
- 5) 金城学院大学
- 6) 東京都立駒込病院

002-008 健診機会を利用した HIV・梅毒検査提供に向けた検討

川畑拓也¹⁾、上原大知²⁾、伊禮之直²⁾、
真栄田哲²⁾、崎原永辰²⁾、仲宗根正³⁾、
仁平 稔⁴⁾、久高 潤⁵⁾、渡邊 大⁶⁾、
大森亮介⁷⁾、駒野 淳⁸⁾、阪野文哉¹⁾、
小島洋子¹⁾、森 治代¹⁾、本村和嗣¹⁾

- 1) (地独) 大阪健康安全基盤研究所
- 2) 那覇市医師会生活習慣病検診センター
- 3) 那覇市保健所
- 4) 沖縄県衛生環境研究所
- 5) 沖縄県保健医療部地域保健課
- 6) (独) 国立病院機構 大阪医療センター
- 7) 国立大学法人北海道大学
- 8) 大阪薬科大学

002-009 保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査

土屋菜歩¹⁾、佐野貴子²⁾、近藤真規子²⁾、
カエベタ亜矢³⁾、関なおみ⁴⁾、城所敏英⁵⁾、
根岸 潤⁶⁾、堅多敦子⁷⁾、川畑拓也⁸⁾、
貞升健志⁹⁾、須藤弘二¹⁰⁾、加藤真吾¹⁰⁾、
大木幸子¹¹⁾、生島 嗣¹²⁾、今井光信¹³⁾、
今村顕史⁷⁾

- 1) 東北大学東北メディカル・メガバンク機構
- 2) 神奈川県衛生研究所
- 3) 新宿区保健所
- 4) 豊島区池袋保健所
- 5) 東京都南新宿検査・相談室
- 6) 東京都福祉保健局
- 7) がん・感染症センター都立駒込病院
- 8) 地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所
- 9) 東京都健康安全研究センター微生物部
- 10) 慶應義塾大学医学部
- 11) 杏林大学保健学部
- 12) 特定非営利活動法人 ぶれいす東京
- 13) 田園調布学園大学

■日時：11 月 27 日 (水) 10:30 ~ 11:20

■会場：第 3 会場

(熊本城ホール 3F 大会議室 A4)

003 抗 HIV 療法 1

座長 井門敬子

(愛媛大学医学部附属病院 薬剤部)

中田浩智

(熊本大学病院 血液・膠原病・感染症内科)

003-010 DTG/ABC/3TC から DTG+3TC への 2 剤レジメンへの変更の経験

藤井輝久^{1,2)}、山崎尚也¹⁾、井上暢子¹⁾、
柿本聖樹³⁾、石井聡一郎⁴⁾、畝井浩子⁴⁾、
齋藤誠司⁵⁾

- 1) 広島大学病院輸血部
- 2) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 3) 広島大学病院総合診療科
- 4) 広島大学病院薬剤部
- 5) 国立病院機構福山医療センター広島県東部地区エイズ治療センター

003-011 ワルファリン服用患者におけるダルナビル/リトナビルからラルテグラビルに変更した際のワルファリン投与量と PT(INR) の推移

尾崎淳子¹⁾、松村勝之¹⁾、櫻井香織¹⁾、
米澤 淳¹⁾、白川康太郎²⁾、高折晃史²⁾、
松原和夫¹⁾

- 1) 京都大学医学部附属病院 薬剤部
- 2) 京都大学医学部附属病院 血液内科

003-012 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査－抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査 (2019 年)

小島賢一¹⁾、日笠 聡²⁾、増田純一³⁾、
関根祐介⁴⁾、三浦直子⁵⁾

- 1) 荻窪病院血液凝固科
- 2) 兵庫医科大学血液内科
- 3) 国立国際医療研究センター病院 医薬品情報室
- 4) 東京医科大学病院 薬剤部
- 5) 荻窪病院薬剤部

003-013 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査－治療開始時の抗 HIV 薬処方動向調査 (2019 年)

日笠 聡¹⁾、小島賢一²⁾、増田純一³⁾、
関根祐介⁴⁾

- 1) 兵庫医科大学血液内科
- 2) 荻窪病院 血液凝固科
- 3) 国立国際医療研究センター病院
- 4) 東京医科大学病院 薬剤部

003-014 STR 時代における日本国内 HIV 陽性者の服薬アドヒランス調査

井上洋士¹⁾、横山清司²⁾、長谷川孝一²⁾、羽深典之²⁾

- 1) 国立がん研究センターがん対策情報センター
2) ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフェアーズ本部

■日時：11 月 27 日 (水) 10:40～11:30

■会場：第 4 会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

004 薬剤師・薬局

座長 大石裕樹

(九州医療センター薬剤部)

栗原 健

(一般社団法人 日本病院薬剤師会)

004-015 精神的問題を抱える HIV 感染者に対する病院内外のスタッフ連携を考える～薬局薬剤師がゲートキーパーとなった事例から～

霧生瑠子¹⁾、戸矢崎信也²⁾、木村聡太¹⁾、小松賢亮¹⁾、高橋卓巳³⁾、増田純一⁴⁾、矢崎博久¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター
2) 戸山薬局
3) 筑波大学附属病院 精神神経科
4) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部

004-016 東北北海道の中核拠点病院の現状と生活習慣についてのアンケート調査

高橋道生¹⁾、大森健太郎¹⁾、重共孝一¹⁾、田名部真紀子³⁾、駄馬さおり³⁾、畑中奈津江³⁾、宮城島拓人²⁾

- 1) 独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院 薬剤部
2) 独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院 内科
3) 独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院 看護部

004-017 自立支援医療（更生医療）指定薬局の抗 HIV 薬処方応需状況に関する調査

築地茉莉子¹⁾、鈴木貴明¹⁾、菅谷修平¹⁾、高柳 晋²⁾、谷口俊文²⁾、猪狩英俊²⁾、石井伊都子¹⁾

- 1) 千葉大学医学部附属病院 薬剤部
2) 千葉大学医学部附属病院 感染症内科

004-018 HIV 陽性外来患者にかかりつけ薬局が活用されない要因の検討－患者アンケート調査の計量テキスト分析－

武道涼平¹⁾、富澤 淳¹⁾、加藤 笑³⁾、持田俊也¹⁾、奥脇達也¹⁾、小川隆弘¹⁾、春日井公美²⁾、和田達彦⁴⁾、厚田幸一郎^{1,2)}

- 1) 北里大学病院薬剤部
2) 北里大学薬学部
3) 北里大学病院看護部
4) 北里大学医学部 膠原病・感染内科

004-019 HIV 感染症治療における院外処方への移行の推進に向けた薬剤師の取り組みと課題

野村直幸¹⁾、松井綾香¹⁾、飯塚暁子¹⁾、藤原千尋¹⁾、門田悦子¹⁾、木梨貴博¹⁾、村上由佳¹⁾、齊藤誠司¹⁾、坂田達朗¹⁾、和田秀穂²⁾

- 1) 国立病院機構 福山医療センター エイズ治療センター
2) 川崎医科大学 血液内科学

■日時：11 月 27 日 (水) 11:20～12:10

■会場：第 3 会場

(熊本城ホール 3F 大会議室 A4)

005 抗 HIV 療法 2

座長 橋口照人

(鹿児島大学 歯学部医学系 歯学部総合研究科 先進治療科学専攻 循環器・呼吸器病学講座)

塚田訓久

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

005-020 当院におけるリルピビルン/エムトリシタビン/テノホビルアラフェナミドフマル酸塩配合錠の使用状況について

中内崇夫¹⁾、矢倉裕輝¹⁾、櫛田宏幸¹⁾、榎田智仁²⁾、廣田和之²⁾、上地隆史²⁾、渡邊 大²⁾、西田泰治²⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾

- 1) 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部
2) 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

005-021 当院におけるテノホビルアラフェナミド/エムトリシタビン/ビクテグラビルの使用経験

池内和彦、安達英輔、林 阿英、古賀道子、堤 武也、四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

005-022 テノホビルジソプロキシルフマル酸塩からテノホビルアラフェナミドへの変更による推算糸球体ろ過量変化速度への影響

日笠真一¹⁾、島袋翔多¹⁾、西田桜子¹⁾、
秀田恭子¹⁾、日笠 聡²⁾、澤田暁宏²⁾、
徳川多津子²⁾、田中邦佳¹⁾、柳井美奈¹⁾、
木村 健¹⁾

1) 兵庫医科大学病院 薬剤部

2) 兵庫医科大学病院 血液内科

005-023 テノビル製剤の切り替えによる腎機能への影響～尿中 $\beta 2$ -ミクログロブリンを用いた検討～

朽木絵美¹⁾、右川 浩¹⁾、岩淵千太郎²⁾、
林みどり¹⁾

1) 東京都立墨東病院薬剤科

2) 東京都立墨東病院感染症科

005-024 北陸ブロックで処方されている抗 HIV 薬についての検討

渡邊珠代¹⁾、辻 典子²⁾、朝倉英策³⁾、
森永浩次⁴⁾、吉尾伸之⁵⁾、井上 仁⁶⁾、
今村 信⁷⁾、市橋 匠⁸⁾、松本直樹⁹⁾、
鳴河宗聡¹⁰⁾、彼谷裕康¹¹⁾、岩崎博道¹²⁾

1) 石川県立中央病院免疫感染症科

2) 石川県立中央病院 HIV 事務室

3) 金沢大学附属病院

4) 福井県立病院

5) 国立病院機構金沢医療センター

6) 国立病院機構敦賀医療センター

7) 福井赤十字病院

8) 市立敦賀病院

9) 黒部市民病院

10) 富山大学附属病院

11) 富山県立中央病院

12) 福井大学医学部附属病院

■日時：11月27日(水) 11:30～12:10

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

006 副作用

座長 内藤俊夫

(順天堂大学医学部総合診療科学講座)

白阪琢磨

(国立病院機構 大阪医療センター)

006-025 TDF から TAF への変更 48 週後、96 週後の腎関連検査値、脂質系検査値についての検討

柏原陽平¹⁾、富島公介¹⁾、増田章秀¹⁾、
弓場達也²⁾、津田正博¹⁾、大野聖子^{2,3)}

1) 京都第一赤十字病院 薬剤部

2) 京都第一赤十字病院 呼吸器内科

3) 京都第一赤十字病院 感染制御部

006-026 Tenofovir disoproxil fumarate から tenofovir alafenamide 変更例の体重、血中脂質への影響に関する検討

加藤万理¹⁾、平野 淳¹⁾、松本千鶴¹⁾、
松岡梨恵¹⁾、福島直子¹⁾、今橋真弓²⁾、
岩谷靖雅²⁾、中井正彦¹⁾、横幕能行³⁾

1) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤部

2) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター感染・免疫研究部

3) 国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター

006-027 不用意な ART 変更により急性腎障害をきたした一症例

松浦基夫¹⁾、宮本愛梨沙²⁾、那波みゆき²⁾、
宇高 歩²⁾、草間加与³⁾、西田幸司³⁾、
小川吉彦⁴⁾

1) 堺市立総合医療センター腎代謝免疫内科

2) 堺市立総合医療センター薬剤科

3) 堺市立総合医療センター呼吸器内科

4) 堺市立総合医療センター感染症内科

006-028 ラルテグラビル 1200mg とプロトンポンプ阻害薬との併用による有害事象が疑われた一例

上原 仁¹⁾、諸見牧子¹⁾、与那覇房子¹⁾、
前田サオリ²⁾、宮城京子²⁾、石郷岡美穂³⁾、
大城市子⁴⁾、辺土名優美子⁴⁾、仲村秀太⁵⁾、
健山正男⁵⁾、藤田次郎⁵⁾、中村克徳¹⁾

1) 琉球大学医学部附属病院薬剤部

2) 琉球大学医学部附属病院看護部

3) 琉球大学医学部附属病院医療福祉支援センター

4) 沖縄県 HIV 派遣カウンセラー

5) 琉球大学大学院感染症・呼吸器・消化器内科学講座

■日時：11月27日(水) 13:30～14:10

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

007 免疫再構築症候群

座長 白野倫徳

(大阪市立総合医療センター感染症内科)

渡邊珠代

(石川県立中央病院免疫感染症科)

007-029 著明な低血糖、乳酸アシドーシスで発症した悪性リンパ腫・免疫再構築症候群 (IRIS) の1例

寒川 整、酒井梨紗、加藤英明、中島秀明

横浜市立大学医学部血液・免疫・感染症内科学

007-030 結核に対する免疫再構築症候群により腸腰筋から大腿部にかけて難治性の膿瘍が生じたと考えられた HIV 患者の一例

堀内弘司¹⁾、澤木賢司¹⁾、佐々木裕明¹⁾、
宮田順之¹⁾、吉村幸浩¹⁾、立川夏夫¹⁾、
津田歩美²⁾、柳 秀高²⁾

1) 横浜市立市民病院

2) 東海大学医学部付属病院

007-031 ニューモシスチス肺炎にて発症した HIV 感染症における治療上の問題点

堀場昌英¹⁾、矢崎夏美¹⁾、下田 学¹⁾、
廣瀬友城¹⁾、中野滋文¹⁾、諸井文子¹⁾、
高杉知明¹⁾、太田康男²⁾

1) 国立病院機構東埼玉病院 呼吸器科

2) 国立病院機構東埼玉病院 内科

007-032 日本の医薬品副作用データベースを用いた HIV 感染症患者における免疫再構築症候群発症までの期間と予後に関連する因子の解析

田中博之¹⁾、和田達彦²⁾、石井敏浩¹⁾

1) 東邦大学薬学部

2) 北里大学病院膠原病・感染内科

■日時：11月27日(水) 13:30～14:10

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

008 日和見感染 1

座長 健山正男

(琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学)

立川夏夫

(横浜市立市民病院 感染症内科)

008-033 横浜市立市民病院におけるエイズ指標疾患例の解析 (2008-2018 年)

吉村幸浩、佐々木裕明、堀内弘司、宮田順之、
立川夏夫

横浜市立市民病院感染症内科

008-034 多発性小嚢胞性陰影を呈したニューモシスチス肺炎で発症した AIDS の一例

永井博之¹⁾、茂田光弘¹⁾、服部元貴¹⁾、
関 将行²⁾、笠井昭吾¹⁾、柳 富子³⁾、
大河内康実¹⁾

1) JCHO 東京山手メディカルセンター呼吸器内科

2) 同 薬剤部

3) 同 血液内科

008-035 HIV/ ニューモシスチス肺炎 (PCP) に合併した難治性両側気胸に対し、胸膜癒着術と気管支充填術を併用し救命できた一例

宮田順之¹⁾、吉村幸浩¹⁾、栗原正利²⁾、
立川夏夫¹⁾

1) 横浜市立市民病院感染症内科

2) 日産厚生会玉川病院気胸研究センター

008-036 薬剤アレルギーで治療に難渋し、Voriconazole (VRCZ) + 5-FC で治療を行ったクリプトコッカス髄膜炎の一例

今村淳治¹⁾、近藤 旭²⁾、神尾咲留未²⁾、
阿部謙介²⁾、鈴木美絵子¹⁾、佐々木晃子¹⁾、
伊藤俊広¹⁾

1) 国立病院機構 仙台医療センター

2) 国立病院機構 仙台医療センター 薬剤部

■日時：11月27日(水) 14:10～14:50

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

009 日和見感染 2

座長 照屋勝治

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

永井英明

(国立病院機構 東京病院 呼吸器センター)

009-037 HIV 感染者の CMV モニタリングにおけるリアルタイム PCR 法の臨床評価

村田昌之、加勢田富士子、松本佑慈、高山耕治、
豊田一弘、小川栄一、古庄憲浩

九州大学病院総合診療科

009-038 HIV 感染症合併帯状疱疹の臨床的特徴に関する検討

笠松亜由¹⁾、福島一彰¹⁾、田中 勝¹⁾、
小林泰一郎¹⁾、矢嶋敬史郎¹⁾、関谷紀貴²⁾、
味澤 篤³⁾、今村顕史¹⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

2) がん・感染症センター都立駒込病院 感染制御科 / 臨床検査科

3) 東京都立北療育医療センター

009-039 カポジ肉腫に対するリボソーマルドキソルビン投与中に *Talaromyces marneffe* と診断された日本人 HIV 感染者の 1 例

宮下竜伊¹⁾、関谷綾子¹⁾、上久保淑子¹⁾、
山口知子¹⁾、三好和康¹⁾、近澤悠志¹⁾、
一木昭人¹⁾、備後真登¹⁾、村松 崇¹⁾、
横田和久¹⁾、金子 誠¹⁾、四本美保子¹⁾、
篠澤圭子²⁾、萩原 剛¹⁾、稲葉 浩¹⁾、
天野景裕^{1,2)}、木内 英¹⁾、福武勝幸^{1,2)}

1) 東京医科大学病院臨床検査医学科

2) 東京医科大学血液凝固異常症遺伝子研究寄附講座

009-040 非梅毒性腸管スピロヘータ症を合併した HIV 感染症の 2 例

小山和彦¹⁾、高濱宗一郎¹⁾、南 留美¹⁾、
山地由恵²⁾、犬丸真司²⁾、長與由紀子²⁾、
城崎真弓²⁾、山本政弘¹⁾

1) 国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症内科

2) 国立病院機構 九州医療センター 看護部

■日時：11月27日(水) 14:40～15:40

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

010 免疫・ワクチン

座長 山本浩之

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

村越勇人

(熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 国際連携
分野東京連携ラボ)

010-041 糖化フラボノイドにより活性化された 1 型 $\gamma\delta$ T 細胞による HIV 増殖抑制

高橋秀実、米川倫之、清水真澄、松村次郎

日本医科大学付属病院

010-042 ワクチン誘導 Gag₂₄₁₋₂₄₉ エピトープ特異的 CD8 陽性 T 細胞の交差反応性が SIV 感染に与える影響の解析

野村拓志¹⁾、寺原和孝²⁾、石井 洋¹⁾、
山本浩之¹⁾、三浦智行³⁾、俣野哲朗^{1,4,5)}

1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

2) 国立感染症研究所 免疫部

3) 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所霊長類モデル
研究分野

4) 東京大学 医科学研究所

5) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

010-043 効果的な抗体誘導に向けた新規 Env 搭載 センダイウイルス粒子ワクチンの性状解析

石井 洋¹⁾、中村 碧¹⁾、徳炭 剛²⁾、
朱 亜峰²⁾、俣野哲朗^{1,3)}

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター

2) 株式会社 ID ファーマ

3) 東京大学医科学研究所

010-044 single cell sorting と deep learning を用いた抗イディオタイプ抗体による抗 V3 loop 抗体分化の系統学的検討

郭 悠、Hasan MD Zahid、
Shashwata Biswas、桑田岳夫、松下修三

熊本大学レトロウイルス学共同研究センター臨床レトロ
ウイルス学分野

010-045 Microbial dysbiosis and associated functional shifts in gut microbiome of HIV infected patients

Parbie Prince Kofi ^{1,2)}、
Taketoshi Mizutani ⁴⁾、
Aya Ishizaka ⁴⁾、Sayuri Seki ²⁾、
Christopher Zaab-Yen Abana ³⁾、
Dennis Kushitor ³⁾、
Evelyn Yayra Bonney ³⁾、
Sampson Badu Ofori ⁵⁾、
William Kwabena Ampofo ³⁾、
Koichi Ishikawa ²⁾、
Tetsuro Matano ^{1,2,4)}

- 1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 2) AIDS Research Centre, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan
- 3) Noguchi Memorial Institute for Medical Research, University of Ghana, Accra, Ghana
- 4) Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan
- 5) Regional Hospital Koforidua, Ghana Health Service, Koforidua, Ghana

■日時：11月27日(水) 15:20～16:10

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

011 悪性腫瘍

座長 今村淳治

(国立病院機構 仙台医療センター)

渡邊 大

(国立病院機構 大阪医療センター)

011-046 顔面神経麻痺で発症した HIV 合併濾胞性リンパ腫

細田智弘 ¹⁾、布施彰久 ²⁾、佐藤えみり ³⁾、
外山高朗 ⁴⁾、坂本光男 ¹⁾

- 1) 川崎市立川崎病院感染症内科
- 2) 川崎市立川崎病院神経内科
- 3) 川崎市立川崎病院耳鼻咽喉科
- 4) 川崎市立井田病院血液内科

011-047 ドルテグラビルによる Organic Anion Transoporter(OAT)-1 阻害によるメソトレキセート排泄遅延が疑われた中枢神経原発悪性リンパ腫の1例

畠山成寛 ¹⁾、寒川 整 ²⁾、酒井梨紗 ²⁾、
坂本靖宜 ¹⁾、古川大輔 ¹⁾、小池博文 ¹⁾、
加藤英明 ²⁾、中島秀明 ²⁾、佐橋幸子 ¹⁾

- 1) 横浜市立大学附属病院 薬剤部
- 2) 横浜市立大学医学部 血液・免疫・感染症内科学

011-048 当院における HIV 感染合併悪性リンパ腫の臨床的検討

小西啓司、中川裕太、福岡里紗、森田 諒、
山根和彦、麻岡大裕、中河秀憲、白野倫徳、
後藤哲志

大阪市立総合医療センター 感染症内科

011-049 結核や悪性腫瘍と鑑別を要した HIV 感染症合併 EBV 関連多発平滑筋腫の1例

工藤由佳 ¹⁾、福島一彰 ¹⁾、藤原 翔 ¹⁾、
田中 勝 ¹⁾、小林泰一郎 ¹⁾、矢嶋敬史郎 ¹⁾、
堀内正夫 ²⁾、関谷紀貴 ²⁾、味澤 篤 ^{1,3)}、
今村顕史 ¹⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院 感染制御科 臨床検査科
- 3) 東京都立北療育医療センター

011-050 ART 開始後に縮小傾向を認めた EBV-associated smooth muscle tumor 合併 AIDS の一例

荒 隆英 ^{1,2)}、遠藤知之 ^{1,2)}、後藤秀樹 ^{1,2)}、
笠原耕平 ³⁾、長谷川裕太 ^{1,4)}、横山翔太 ^{1,4)}、
高桑恵美 ⁵⁾、松野吉宏 ⁵⁾、橋野 聡 ⁶⁾、
豊嶋崇徳 ^{1,2)}

- 1) 北海道大学病院血液内科
- 2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
- 3) 市立旭川病院 血液内科
- 4) エイズ予防財団
- 5) 北海道大学病院 病理部
- 6) 北海道大学 保健センター

■日時：11月27日(水) 15:45～16:33

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

012 抗ウイルス剤

座長 前田賢次

(国立国際医療研究センター研究所)

三隅将吾

(熊本大学大学院生命科学研究所 環境分子保健学分野)

012-051 二量体化 HIV-1 膜融合阻害剤の作用機構

村上 努¹⁾、海老原健人²⁾、小早川拓也²⁾、
藤野真之¹⁾、児玉栄一³⁾、玉村啓和²⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター

2) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所

3) 東北大学災害科学国際研究所

012-052 HIV プロテアーゼ阻害剤 GRL-142 とその誘導体の強力な抗ウイルス活性発揮機序の解明

服部真一郎¹⁾、Haydar Bulut²⁾、
林 宏典^{1,3)}、青木 学^{1,2)}、青木宏美²⁾、
長谷川和也⁴⁾、Arun K. Ghosh⁵⁾、
満屋裕明^{1,2,6)}

1) 国立国際医療研究センター研究所

2) National Cancer Institute/NIH

3) 東北大学医学系研究科

4) 高輝度光科学センター

5) Purdue University

6) 熊本大学病院

012-053 P2-bis-THF 基および P2'-CpAbt 基を有し、多剤耐性 HIV 変異株に対しても強力な抗ウイルス活性を発揮する新規プロテアーゼ阻害薬の同定

高松悠樹¹⁾、青木 学^{1,2)}、
Haydar Bulut¹⁾、Debananda Das¹⁾、
天野将之³⁾、Venkata Reddy Sheri⁴⁾、
Ladislau C. Kovari⁵⁾、林 宏典²⁾、
Nicole S. Delino^{1,2)}、Arun K. Ghosh⁴⁾、
満屋裕明^{1,2,3)}

1) National Cancer Institute・National Institute of Health

2) 国立国際医療研究センター研究所

3) 熊本大学

4) Purdue University・Departments of Chemistry and Medicinal Chemistry

5) Wayne State University School of Medicine・Department of Biochemistry, Microbiology, and Immunology

012-054 熊本大学有用天然物ライブラリーを用いた HIV 潜伏感染細胞活性化剤の探索

岸本直樹、加藤 光、横手綾子、江口啓介、
渡邊高志、塚本佐知子、三隅将吾

熊本大学大学院薬学教育部

■日時：11月27日(水) 16:10～16:40

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

013 PEP/nPEP/PrEP

座長 水島大輔

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

伊藤俊広

(国立病院機構 仙台医療センター 感染症内科、

国立病院機構 仙台医療センター HIV/AIDS 包括医療センター)

013-055 A mathematical model of HIV prevention strategies in Japanese MSM

Stuart Gilmour¹⁾、Liping Peng²⁾、
Jinghua Li²⁾、Haruko Hoshino¹⁾、
Junko Tanuma³⁾、Shinichi Oka³⁾

1) St. Luke's International University Graduate School of Public Health

2) Sun Yat Sen University, Guangzhou, China

3) National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan

013-056 個人輸入による PrEP 実施者の増加と SH 外来での対応

高野 操¹⁾、水島大輔²⁾、田中和子²⁾、
青木孝弘²⁾、柳川泰昭²⁾、上村 悠²⁾、
渡辺恒二²⁾、菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾

1) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

2) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

013-057 HIV 非感染 MSM コホートにおける PrEP 研究に関する中間報告

水島大輔¹⁾、高野 操¹⁾、上村 悠¹⁾、
柳川泰昭¹⁾、青木孝弘¹⁾、渡辺恒二¹⁾、
瀧永博之^{1,2)}、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一^{1,2)}

1) 国立国際医療研究センター・エイズ治療研究開発センター

2) 熊本大学エイズ学研究センター

■日時：11月27日(水) 16:40～17:28

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

014 薬剤耐性

座長 杉浦 互

(バイオメリュー・ジャパンメディカルアフェアーズ)

蜂谷敦子

(国立病院機構 名古屋医療センター)

014-058 医療資源の限られた地域における MinION を用いた HIV *pol* 領域シーケンスの薬剤耐性検査への有用性の検討

菊地 正¹⁾、Godfrey Barabona²⁾、George Judicate²⁾、Macdonald Mahiti³⁾、Doreen Kamori³⁾、Bruno Sunguya³⁾、Eligius Lyamuya³⁾、大出裕高⁴⁾、岩谷靖雅⁴⁾、俣野哲朗¹⁾、上野貴将²⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター

2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

3) Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Tanzania

4) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

014-059 HIV drug resistance mutation in virally suppressed Tanzanians on long term ART

Godfrey Barabona¹⁾、Macdonald Mahiti²⁾、Salim Masoud²⁾、Doreen Kamori²⁾、George Judicate¹⁾、Kyoko Yamada¹⁾、Amina Shaban Mgunya³⁾、Lilian Minja³⁾、Bruno Sunguya^{1,2)}、Eligius Lyamuya^{1,2)}、Takamasa Ueno^{1,2)}

1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto Univ

2) Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Tanzania

3) Muhimbili National Hospital, Tanzania

014-060 2017-18年に東海ブロックにおいて新規HIV-1感染者数が急増した集団の分子疫学的特徴

松田昌和¹⁾、今橋真弓¹⁾、蜂谷敦子²⁾、重見 麗¹⁾、岡崎玲子¹⁾、矢野邦夫³⁾、鶴見 寿⁴⁾、奥村暢将⁵⁾、谷口晴記⁶⁾、椎野禎一郎⁷⁾、羽柴知恵子⁸⁾、菊地 正⁹⁾、横幕能行¹⁾、岩谷靖雅^{1,10)}

1) NHO 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部

2) NHO 名古屋医療センター 臨床研究センター 臨床研究企画管理部 生体情報解析室

3) 浜松医療センター 感染症内科

4) 岐阜大学医学部附属病院 血液内科

5) 安城更生病院 呼吸器内科

6) 三重県立総合医療センター 産婦人科

7) 国立感染症研究所 感染症疫学センター

8) NHO 名古屋医療センター 看護部

9) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

10) 名古屋大学大学院医学系研究科 免疫不全統御学講座

014-061 国内伝播クラスタの検索プログラムの開発3：勢いを弱めた主要伝播クラスタ

椎野禎一郎¹⁾、大谷眞智子²⁾、蜂谷敦子³⁾、吉村和久⁴⁾、菊地 正²⁾

1) 国立感染症研究所感染症疫学センター

2) 国立感染症研究所エイズ研究センター

3) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

4) 東京都健康安全研究センター

■日時：11月28日(木) 10:40～11:40

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

015 生活習慣病 1

座長 南 留美

(国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症内科)

天野景裕

(東京医科大学病院 臨床検査医学科)

015-062 HIV 感染者における 10 年間での変化

古西 満^{1,2)}、宇野健司^{2,3)}、菱矢直邦^{2,3)}、小川 拓²⁾、治田匡平⁴⁾、青井博志⁴⁾、川崎裕貴⁴⁾、笠原 敬²⁾、三笠桂一²⁾

1) 奈良県立医科大学健康管理センター

2) 奈良県立医科大学感染症センター

3) 南奈良総合医療センター感染症内科

4) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部

015-063 当院における糖尿病治療薬併用 HIV 感染症患者の現状調査

押賀充則¹⁾、増田純一¹⁾、熊木絵美¹⁾、
小林瑞季¹⁾、霧生彩子¹⁾、古屋貴人¹⁾、
長島浩二¹⁾、田沼順子²⁾、照屋勝治²⁾、
瀧永博之²⁾、塚田訓久²⁾、寺門浩之¹⁾、
菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾

1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部

2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

015-064 HIV 感染症合併血友病患者における微小脳出血の経時的評価

遠藤知之^{1,2)}、後藤秀樹^{1,2)}、荒 隆英^{1,2)}、
長谷川祐太^{1,3)}、横山翔大^{1,3)}、中川雅夫¹⁾、
加畑 馨¹⁾、橋本大吾¹⁾、橋野 聡^{2,4)}、
豊嶋崇徳^{1,2)}

1) 北海道大学病院・血液内科

2) 北海道大学病院・HIV 診療支援センター

3) エイズ予防財団

4) 北海道大学・保健センター

015-065 当院におけるヒト免疫不全ウイルス陽性患者の虚血性心疾患の現状

久保田修司¹⁾、長井 蘭¹⁾、中川 堯¹⁾、
岡崎 徹¹⁾、山本正也¹⁾、岡崎 修¹⁾、
原 久男¹⁾、岡 慎一²⁾、廣井透雄¹⁾

1) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 循環器内科

2) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

015-066 薬害 HIV 感染患者における虚血性心疾患の早期発見のための脈波伝播速度検査の有用性

長井 蘭¹⁾、久保田修司¹⁾、原 久男¹⁾、
小形幹子²⁾、上村 悠²⁾、柳川泰昭²⁾、
青木孝弘²⁾、渡辺恒二²⁾、塚田訓久²⁾、
田沼順子²⁾、照屋勝治²⁾、瀧永博之²⁾、
菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾、廣井透雄¹⁾

1) 国立国際医療研究センター 循環器内科

2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

015-067 HIV 感染者における血管内皮機能検査と動脈硬化の危険因子との検討

高濱宗一郎¹⁾、小山和彦¹⁾、南 留美¹⁾、
山地由恵²⁾、犬丸真司²⁾、長與由紀子²⁾、
城崎真弓²⁾、山本政弘¹⁾

1) 国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症内科

2) 国立病院機構 九州医療センター 看護部

■日時：11 月 28 日 (木) 11:00 ~ 11:50

■会場：第 5 会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

016 STI・STD

座長 渡辺恒二

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

四本美保子

(東京医科大学病院 臨床検査医学科)

016-068 腸管アメーバ赤痢に対する迅速抗原診断キットの有用性に関する検討 (Ameba-Dx 研究班)

Ameba-Dx Study Group¹⁾、遠藤知之²⁾、
大塚梨沙³⁾、鯉淵智彦⁴⁾、古賀道子⁴⁾、
小林泰一郎⁵⁾、坂井和巳⁵⁾、渋谷真美³⁾、
下河原理江子⁶⁾、新行内裕之⁴⁾、土橋悦子³⁾、
中田浩智⁷⁾、永田彩夏³⁾、福島理香⁷⁾、
宮川寿一⁷⁾、八木田健司⁶⁾、柳川泰昭^{3,6)}、
渡辺恒二³⁾

1) Ameba-Dx 研究班事務局

2) 北海道大学病院

3) 国立国際医療研究センター

4) 東京大学医科学研究所附属病院

5) がん・感染症センター都立駒込病院

6) 国立感染症研究所

7) 熊本大学病院

016-069 多様な赤痢アメーバ症病態における腸内細菌叢の比較検証

柳川泰昭、渡辺恒二、上村 悠、水島大輔、
青木孝弘、田沼順子、塚田訓久、照屋勝治、
瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療研究開発センター

016-070 MSM における肛門 HPV 感染と前癌病変のリスクに関する検討

塩尻大輔^{1,2)}、水島大輔¹⁾、安藤尚克^{1,2)}、
青木孝弘¹⁾、柳川泰昭¹⁾、上村 悠¹⁾、
高野 操¹⁾、出口佳美¹⁾、小形幹子¹⁾、
渡辺恒二¹⁾、田沼順子¹⁾、塚田訓久¹⁾、
矢崎博久¹⁾、源河いくみ¹⁾、照屋勝治¹⁾、
菊池 嘉¹⁾、瀧永博之^{1,2)}、岡 慎一^{1,2)}

1) エイズ治療・研究開発センター 国立国際医療研究センター病院

2) 熊本大学レトロウイルス学共同研究センター

016-071 Men who sex with men(MSM)における *Mycoplasma genitalium* の臨床的検討

安藤尚克¹⁾、水島大輔¹⁾、青木孝弘¹⁾、
上村 悠¹⁾、塩尻大輔¹⁾、柳川泰昭¹⁾、
渡辺恒二¹⁾、貞升健志²⁾、水戸部森歌²⁾、
三宅啓文²⁾、横山敬子²⁾、西島 健¹⁾、
矢崎博久¹⁾、塚田訓久¹⁾、田沼順子¹⁾、
照屋勝治¹⁾、瀧永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、
岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター エイズ治療研究開発センター
2) 東京都健康安全研究センター微生物部

016-072 東京都における A 型肝炎ウイルスの遺伝子解析（2015-2018 年）

長島真美、浅倉弘幸、永野美由紀、矢尾板優、
宗村佳子、新開敬行、千葉隆司、吉村和久、
貞升健志

東京都健康安全研究センター 微生物部

■日時：11 月 28 日 (木) 11:00 ～ 11:40

■会場：第 6 会場

（熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2）

017 MSM

座長 高木雅敏

（熊本大学医学部附属病院 血液内科・感染免疫診療部）

新山 賢

（HaaT えひめ）

017-073 東海地域におけるゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした性感染症検査会の NGO による広報とその効果

高橋良介^{1,2)}、石田敏彦²⁾、藤浦裕二²⁾、
岩崎 誠²⁾、今橋真弓³⁾、金子典代⁴⁾

- 1) 日本福祉大学大学院 医療・福祉マネジメント研究科
2) ANGEL LIFE NAGOYA
3) 国立名古屋医療センター
4) 名古屋市立大学大学院看護学研究科

017-074 コミュニティセンター来場者におけるセンターでの情報入手や相談経験、HIV 検査行動、新しい知識の浸透

金子典代¹⁾、太田 貴²⁾、荒木 順³⁾、
岩橋恒太³⁾、石田敏彦⁴⁾、宮田りりい⁵⁾、
塩野徳史⁵⁾、玉城祐貴⁶⁾

- 1) 名古屋市立大学看護学研究科
2) やろっこ
3) 特定非営利活動法人 akta
4) ANGEL LIFE NAGOYA
5) MASH 大阪
6) nankr

017-075 MSM を対象とした郵送検査キット用いた HIV 検査「HIVcheck.jp」のベニューの拡大の試行

岩橋恒太¹⁾、金子典代²⁾、高野 操³⁾、
岡 慎一³⁾、本間隆之⁴⁾、健山正男⁵⁾、
玉城祐貴⁶⁾、市川誠一⁷⁾、荒木 順¹⁾、
木南拓也¹⁾、生島 嗣⁸⁾、佐藤郁夫⁸⁾、
福原寿弥⁸⁾、林田庸総³⁾、中山保世⁹⁾、
小日向弘雄⁹⁾、今村顕史¹⁰⁾

- 1) 特定非営利活動法人 akta
2) 名古屋市立大学看護学部
3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
4) 山梨県立大学看護学部
5) 琉球大学医学部第一内科
6) nankr OKINAWA
7) 金城学院大学消費生活科学研究所
8) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
9) 東新宿こころのクリニック
10) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

017-076 MSM (Men who have sex with men) に包摂される女装者たちの性行動や HIV 感染症に対する意識

宮田りりい¹⁾、塩野徳史²⁾、金子典代³⁾

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団
2) 大阪青山大学健康科学部看護学科
3) 名古屋市立大学看護学部

■日時：11月28日(木) 11:40～12:30

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

018 生活習慣病 2

座長 遠藤知之

(北海道大学病院血液内科、北海道大学病院 HIV 診療支援センター)

古西 満

(奈良県立医科大学健康管理センター)

018-077 インテグラーゼ阻害薬使用中の体重増加に関する HIV 感染者の検討

関谷綾子、宮下竜伊、上久保淑子、一木昭人、近澤悠志、備後真登、村松 崇、横田和久、四本美保子、萩原 剛、天野景裕、福武勝幸、木内 英

東京医科大学臨床検査医学分野

018-078 抗 HIV 療法継続下の体重増加に関する検討

田中 勝¹⁾、藤原 翔¹⁾、堀内正夫²⁾、福島一彰¹⁾、小林泰一郎¹⁾、関谷紀貴²⁾、矢嶋敬史郎¹⁾、味澤 篤^{1,3)}、今村顕史¹⁾

1) がん・感染症センター東京都立駒込病院 感染症科

2) がん・感染症センター東京都立駒込病院感染制御科

3) 東京都立北療育医療センター

018-079 インテグラーゼ阻害剤による体重増加に関与する因子の検討

南 留美、高濱宗一郎、小山和彦、小松真梨子、城崎真弓、長與由紀子、犬丸真司、山本政弘

独立行政法人国立病院機構 九州医療センター

018-080 CD4 陽性リンパ球数に対する体脂肪率の影響

庄司久美子¹⁾、白野倫徳²⁾、古西 満³⁾、笠松 悠⁴⁾、市田裕之²⁾、豊島裕子²⁾、後藤哲志²⁾、羽生大記⁵⁾

1) 女子栄養大学栄養学部

2) 大阪市立総合医療センター感染症内科

3) 奈良県立医科大学健康管理センター

4) 京都府立医科大学附属病院感染症科

5) 大阪市立大学生生活科学研究科

018-081 HIV 感染者の効果的な栄養食事指導に関する報告

三浦洋子¹⁾、本田友絵¹⁾、古賀道子²⁾、千光寺智恵²⁾、久保田めぐみ²⁾、林 阿英³⁾、安達英輔³⁾、菊地 正³⁾、池内和彦²⁾、鯉淵智彦³⁾、畠山高年¹⁾、富樫仁美¹⁾、松原康朗¹⁾、四柳 宏²⁾

1) 東京大学医科学研究所附属病院栄養管理部

2) 東京大学医科学研究所感染症分野

3) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

■日時：11月28日(木) 11:50～12:30

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

019 歯科

座長 宇佐美雄司

(国立病院機構 名古屋医療センター 歯科口腔外科)

高木律男

(新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科顎分野)

019-082 HIV 感染者の歯科治療時の曝露事故における歯科医療従事者の心理に関するアンケート調査 (第1報)

近藤順子¹⁾、丸岡 豊^{1,2)}、高鍋雄亮¹⁾、吉江佑介¹⁾、安田早芳³⁾、墓田真弥¹⁾、加藤 温⁴⁾

1) 国立国際医療研究センター病院 歯科・口腔外科

2) 東京医科歯科大学大学院 顎口腔外科学分野

3) 国立国際医療研究センター国府台病院 歯科

4) 国立国際医療研究センター病院 精神科

019-083 HIV 感染者の歯科治療時の曝露事故における歯科医療従事者の心理に関するアンケート調査 (第2報)

高鍋雄亮¹⁾、丸岡 豊^{1,2)}、近藤順子¹⁾、吉江佑介¹⁾、安田早芳³⁾、墓田真弥¹⁾、加藤 温⁴⁾

1) 国立国際医療研究センター病院 歯科・口腔外科

2) 東京医科歯科大学大学院 顎口腔外科学分野

3) 国立国際医療研究センター国府台病院 歯科

4) 国立国際医療研究センター病院 精神科

019-084 歯科衛生士養成課程における HIV 感染症に関する教育についての研究

Yumiko Nakagawa¹⁾、川崎洋平²⁾、
近藤順子³⁾、大多和由美⁴⁾、高木律男⁵⁾、
岡 慎一¹⁾、宇佐美雄司⁶⁾

- 1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 千葉大学医学部附属病院臨床試験部生物統計室
- 3) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 歯科・口腔外科
- 4) 東京歯科大学短期大学
- 5) 新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野
- 6) 国立病院機構名古屋医療センター 歯科口腔外科

019-085 HIV 感染症の歯科医療体制整備 歯科医療機関の感染対策の現状調査

猪狩英俊¹⁾、谷口俊文¹⁾、高柳 晋¹⁾、
矢幅美鈴¹⁾、千葉 均^{1,2)}、柴田幸治⁵⁾、
築地茉莉子³⁾、鈴木貴明³⁾、葛田衣重⁴⁾、
坂本洋右⁴⁾、丹沢秀樹⁴⁾

- 1) 千葉大学医学部附属病院 感染制御部
- 2) 千葉大学医学部附属病院 看護部
- 3) 千葉大学医学部附属病院 薬剤部
- 4) 千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部
- 5) 千葉大学医学部附属病院 歯科顎口腔外科
- 6) 千葉感染制御研究所

■日時：11 月 28 日 (木) 11:40 ~ 12:30

■会場：第 6 会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2)

020 HIV 予防

座長 金子典代

(名古屋市立大学大学院看護学研究科)

水島大輔

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

020-086 Network clustering of high-risk anal HPV-genotypes 16 and 45 of young Black MSM in Houston is not conditioned on HIV serostatus

Kayo Fujimoto¹⁾、Aditya Khanna²⁾、
Jing Zhao¹⁾、Anna Giuliano³⁾、
Lu-Yu Hwang¹⁾、John Schneider²⁾、
Alan Nyitray⁴⁾

- 1) University of Texas Health Science Center at Houston
- 2) University of Chicago
- 3) Lee Moffitt Cancer Center and Research Institute
- 4) University of Wisconsin at Milwaukee

020-087 Studies evaluating NGOs' HIV prevention interventions targeting MSM community in Mongolia: Results of the internet surveys in FY 2013, 2014, 2017 and 2018

Michiko Takaku¹⁾、
Myagmardorj Dorjgotov²⁾、
Erdenetuya Gombo²⁾、
Nyampurev Galsanjamts²⁾、
Davaalkham Jagdagsuren³⁾、
Seiichi Ichikawa⁴⁾、Satoshi Shiono⁵⁾、
Noriyo Kaneko⁶⁾、Shinichi Oka⁷⁾

- 1) Gifu University of Health Science
- 2) Youth for Health Center
- 3) NCCD, Mongolia
- 4) Kinjo Gakuin University
- 5) Osaka Aoyama University
- 6) Nagoya City University
- 7) ACC, NCGM

020-088 MSM におけるセクシュアルヘルス (HIV 検査行動、新しい知識) に関する現状

塩野徳史

大阪青山大学

020-089 GPS 機能付きアプリケーションを利用する MSM における PrEP の利用経験とその実態 (1)

生島 嗣¹⁾、三輪岳史¹⁾、山口正純²⁾、
大槻知子¹⁾、水島大輔³⁾、岡 慎一³⁾

- 1) ぶれいす東京
- 2) 武南病院
- 3) 国立国際医療研究センター

020-090 GPS 機能付きアプリケーションを利用する MSM における PrEP の利用経験と実施実態 (2)

山口正純¹⁾、三輪岳史²⁾、大槻知子²⁾、
生島 嗣²⁾、水島大輔³⁾、岡 慎一³⁾

- 1) 武南病院内科
- 2) ぶれいす東京
- 3) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

■日時：11月28日(木) 14:00～14:50

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

021 看護

座長 平山江美

(東京女子医科大学病院看護部)

鍵浦文子

(広島国際大学看護学科)

021-091 HIV 患者に対する病棟看護師が行う指導の実態

山地由恵、岸川真裕子

独立行政法人国立病院機構九州医療センター

021-092 エイズ治療拠点病院における診療看護師の活動

中村英樹、本田美和子、森 伸晃、片山充哉

独立行政法人国立病院機構東京医療センター総合内科

021-093 精神疾患をもつ HIV 感染者の支援

村上あおい、森田真由、村田龍宜、元林寛文、楠 寿子、清水恒広

地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立病院

021-094 HIV 感染および肺結核が判明した外国人母子の療養支援

前田サオリ¹⁾、宮城京子¹⁾、仲村秀太²⁾、名嘉山賀子³⁾、健山正男²⁾、上原 仁⁴⁾、石郷岡美穂⁵⁾、大嶺千代美¹⁾、藤田次郎²⁾

1) 国立大学法人琉球大学医学部附属病院 看護部

2) 国立大学法人琉球大学医学部附属病院感染症・呼吸器・消化器内科学講座

3) 国立大学法人琉球大学医学部附属病院 医学研究科育成医学（小児科）講座

4) 国立大学法人琉球大学医学部附属病院薬剤部

5) 国立大学法人琉球大学医学部附属病院 地域医療部

021-095 アフリカ圏出身の HIV 陽性母子感染患者への訪問看護師としての関わりー内服支援と生活サポートー

追分日向子、宮城愛子、玉城直美

公益社団法人 沖縄県看護協会 訪問看護ステーションはえばる

■日時：11月28日(木) 14:00～14:40

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

022 HIV 感染症一般・その他 1 (HAND・透析)

座長 高田清式

(愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研究センター)

木内 英

(東京医科大学病院 臨床検査医学科)

022-096 HIV 陽性者に対するアイオワ・ギャングリング課題と BADS との関連

中尾 綾¹⁾、山之内純¹⁾、末盛浩一郎¹⁾、竹中克斗¹⁾、高田清式²⁾

1) 愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学

2) 愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター

022-097 HIV 感染者における CoCo-Battery および POMS 結果と就労状況との検討

田中貴大¹⁾、古賀道子²⁾、津田春香²⁾、千光寺智恵²⁾、久保田めぐみ²⁾、安達英輔¹⁾、池内和彦²⁾、菊地 正¹⁾、堤 武也²⁾、鯉淵智彦¹⁾、四柳 宏^{1,2)}

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

2) 東京大学医科学研究所感染症分野

022-098 HIV 感染者の維持血液透析受け入れについて

土谷良樹

東京勤労者医療会 東葛病院

022-099 地域医療連携構築を目標とした透析施設における HIV 感染者の受け入れ実態調査

高柳 晋¹⁾、猪狩英俊¹⁾、谷口俊文¹⁾、葛田衣重²⁾

1) 千葉大学医学部附属病院 感染症内科

2) 千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部

■日時：11月28日(木) 14:00～14:40

■会場：第6会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2)

023 歯科診療

座長 新谷智章

(広島大学病院 口腔検査センター)

吉川博政

(国立病院機構 九州医療センター 歯科口腔外科)

023-100 HIV 感染症に関する知識及び意識調査～ 歯科衛生士学生において～

向 真紀¹⁾、宮田 勝²⁾、高木純一郎²⁾、
釜本宗史²⁾、越田美和¹⁾、槇野莉沙¹⁾、
渡邊珠代³⁾、高山次代⁴⁾、辻 典子⁵⁾、
宮浦朗子⁶⁾

- 1) 石川県立中央病院歯科技術室
- 2) 石川県立中央病院歯科口腔外科
- 3) 石川県立中央病院免疫感染症科
- 4) 石川県立中央病院看護部
- 5) 石川県立中央病院 HIV 事務局
- 6) 金沢皓歯会歯科

023-101 拠点病院における歯科衛生士臨床実習の 効果について

宇佐美雄司、萩野浩子

名古屋医療センター歯科口腔外科

023-102 群馬県における HIV 歯科診療連携事業の 現状報告～施設スタッフアンケート結果 より～

石崎芳美¹⁾、中村聡洋¹⁾、柳澤邦雄³⁾、
小川孔幸²⁾、内藤千晶²⁾、樋口裕哉⁴⁾、
城田陽子⁵⁾、合田 史⁶⁾、内海英貴⁷⁾、
下山田めぐみ⁸⁾、櫻井昇幸⁸⁾、大谷忠広¹⁾、
半田 寛²⁾

- 1) 群馬大学医学部附属病院 看護部
- 2) 群馬大学医学部附属病院 血液内科
- 3) 群馬大学医学部附属病院 感染制御部
- 4) 群馬大学医学部附属病院 薬剤部
- 5) 群馬大学医学部附属病院 医事課 (エイズ予防財団)
- 6) 国立病院機構 高崎総合医療センター 総合診療科
- 7) 医療法人社団日高会 白根クリニック
- 8) 群馬県健康福祉部保健予防課感染症対策係

023-103 PEP 配布により構築した歯科診療ネッ トワークの検討

宇佐美雄司¹⁾、萩野浩子¹⁾、横幕能行²⁾

- 1) 名古屋医療センター歯科口腔外科
- 2) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター

■日時：11月28日(木) 14:50～15:30

■会場：第4会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3)

024 母子感染

座長 定月みゆき

(国立国際医療研究センター病院)

024-104 HIV 母子感染予防啓発に関する全国自治 体アンケート調査と今後の啓発活動の考 察

桃原祥人^{1,2)}、吉野直人²⁾、伊藤由子²⁾、
大里和広²⁾、小山理恵²⁾、高橋尚子²⁾、
塚原優己²⁾、渡邊英恵²⁾、羽柴知恵子²⁾、
廣瀬紀子²⁾、佐野貴子²⁾、鈴木ひとみ²⁾、
長與由紀子²⁾、津國瑞紀²⁾、浅野 真^{1,2)}、
谷村憲司²⁾、森實真由美²⁾、木内 英²⁾、
喜多恒和²⁾

- 1) 東京都立大塚病院産婦人科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コ
ホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならび
に診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

024-105 本邦における HIV 感染妊娠の将来予測

杉浦 敦^{1,2)}、山中彰一郎²⁾、竹田善紀²⁾、
市田宏司²⁾、中西美紗緒²⁾、箕浦茂樹²⁾、
松田秀雄²⁾、高野政志²⁾、桃原祥人²⁾、
小林裕幸²⁾、佐久本薫²⁾、太田 寛²⁾、
藤田 綾²⁾、高橋尚子²⁾、大津 洋²⁾、
吉野直人²⁾、山田里佳²⁾、定月みゆき²⁾、
田中瑞恵²⁾、外川正生²⁾、喜多恒和^{1,2)}

- 1) 奈良県総合医療センター 産婦人科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コ
ホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならび
に診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

024-106 HIV 感染の判明時期が妊娠後期・分娩後 であった症例に関する検討

竹田善紀¹⁾、杉浦 敦²⁾、山中彰一郎¹⁾、
市田宏司²⁾、中西美紗緒²⁾、箕浦茂樹²⁾、
松田秀雄²⁾、高野政志²⁾、桃原祥人²⁾、
小林裕幸²⁾、佐久本薫²⁾、太田 寛²⁾、
石橋理子²⁾、藤田 綾²⁾、高橋尚子²⁾、
吉野直人²⁾、山田里佳²⁾、定月みゆき²⁾、
田中瑞恵²⁾、外川正生²⁾、喜多恒和²⁾

- 1) 奈良県立医科大学附属病院産婦人科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コ
ホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならび
に診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

024-107 HIV 母子感染予防の cART ～「HIV 母子感染予防対策マニュアル(第 8 版)」および「HIV 感染妊娠に関する診 療ガイドライン(初版)より～

白野倫徳^{1,2)}、山田里佳²⁾、谷口晴記²⁾、
塚原優己²⁾、井上孝実²⁾、出口雅士²⁾、
中西 豊²⁾、鳥谷部邦明²⁾、大里和広²⁾、
千田時弘²⁾、杉野祐子²⁾、羽柴知恵子²⁾、
渡邊英恵²⁾、杉浦 敦²⁾、吉野直人²⁾、
定月みゆき²⁾、田中瑞恵²⁾、桃原祥人²⁾、
喜多恒和²⁾

1) 大阪市立総合医療センター感染症内科

2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コ
ホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならび
に診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

■日時：11 月 28 日(木) 14:40～15:20

■会場：第 5 会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

025 HIV 感染症一般・その他 2 (医療体制)

座長 横幕能行

(国立病院機構 名古屋医療センター)

菊池 嘉

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

025-108 診療所での HIV 診療の 15 年

高田 昇、小田健司

おだ内科クリニック

025-109 診療所における HIV 感染症診療の試みー 第 12 報

根岸昌功¹⁾、河村祐貴子¹⁾、河野小夜子¹⁾、
織田幸子¹⁾、西岡春菜¹⁾、里 英子²⁾

1) ねぎし内科診療所

2) 東京家政大学

025-110 クリニックで診る HIV 感染症～診断と診 断後のプライマリ・ケア～

谷口 恭、安田とよみ、林比加里、木村恭子

(医) 太融寺町谷口医院

025-111 我が国の抗 HIV 療法の現状と今後

横幕能行¹⁾、伊藤俊広²⁾、山本政弘³⁾、
岡 慎一⁴⁾、豊嶋崇徳⁵⁾、茂呂 寛⁶⁾、
渡邊珠代⁷⁾、渡邊 大⁸⁾、藤井輝久⁹⁾、
今橋真弓¹⁾、渡邊真理子¹⁾

1) 独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター

2) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター

3) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター

4) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センターエイ
ズ治療・研究開発センター

5) 北海道大学病院

6) 新潟大学医学部総合病院

7) 石川県立中央病院

8) 独立行政法人大阪医療センター

9) 広島大学病院

■日時：11 月 28 日(木) 14:40～15:30

■会場：第 6 会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2)

026 陽性者支援

座長 青木理恵子

(特定非営利活動法人 CHARM)

富田健一

(北海道大学病院 HIV 診療支援センター)

026-112 HIV 陽性のカミングアウトの選択プロセ スに関する検討ー選択に伴う葛藤に着目 してー

林 陸¹⁾、清水貴裕²⁾

1) 千葉大学医学部附属病院 精神神経科

2) 東北学院大学教養学部

026-113 抗 HIV 療法の開始・継続と身体障害者認 定について

川村依世、岡本 学、大塚晃子

大阪医療センター

026-114 院内連携の課題が明らかとなった、HIV 関連神経認知障害患者の広域での転院支 援

前田英武、四國友理、中村美保、西田拓洋、
岡崎雅史、北村優衣、朝霧 正、武内世生

高知大学医学部附属病院 エイズケアチーム

026-115 北関東における HIV 陽性者のためのピ ア・プログラムの立ち上げについて

佐藤郁夫、加藤力也、生島 嗣

特定非営利活動法人ぶれいす東京

026-116 地域で HIV 陽性者を支えるために実施した意見交換会の成果

鈴木明子¹⁾、葛田衣重²⁾、種恵理子³⁾、
高橋治紀¹⁾、宮崎 愛¹⁾、神明朱美¹⁾、
松尾尚美¹⁾、古谷佳苗²⁾、遠藤千鶴²⁾、
高橋文子²⁾、柴田幸治⁴⁾、猪狩英俊²⁾

1) 城西国際大学
2) 千葉大学医学部附属病院
3) 前城西国際大学
4) 千葉感染制御研究所

■日時：11月28日(木) 15:40～16:20

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

027 HIV 感染症一般・その他 3 (検査)

座長 今村顕史

(がん・感染症センター都立駒込病院感染症科)

今橋真弓

(国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター感
染・免疫研究部)

027-117 東京都の HIV 無料匿名検査における WB-1 法判定保留例、陰性例における Geenius HIV 1/2 キットの使用経験

長島真美¹⁾、北村有里恵¹⁾、熊谷遼太¹⁾、
新開敬行¹⁾、千葉隆司¹⁾、城所俊英²⁾、
吉村和久¹⁾、貞升健志¹⁾

1) 東京都健康安全研究センター 微生物部
2) 東京都南新宿検査・相談室

027-118 乾燥ろ紙血を用いた HIV Ag/Ab 郵送検 査の性質についての検討

林田庸総¹⁾、柏木恵莉¹⁾、土屋亮人¹⁾、
高野 操¹⁾、青木孝弘¹⁾、瀧永博之¹⁾、
菊池 嘉¹⁾、岩橋恒太²⁾、金子典代³⁾、
岡 慎一¹⁾

1) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エ
イズ治療・研究開発センター
2) 特定非営利活動法人 akta
3) 名古屋市立大学 看護学部

027-119 職場における HIV 感染症 / AIDS の検査 機会提供の有用性と課題

横幕能行¹⁾、高橋秀人²⁾、生島 嗣³⁾、
伊藤公人⁴⁾、今橋真弓¹⁾、渡邊真理子¹⁾

1) 独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター
2) 国立保健医療科学院
3) 特定非営利活動法人 ふれいす東京
4) 社会医療法人 宏潤会 大同病院

027-120 当院における HIV 感染者での A 型肝炎の 現状 ～ワクチン接種および接種後抗体 価の検討～

板倉泰朋、吉田 敦、平山江美、水島 遼、
平井由児、古賀一郎、菊池 賢

東京女子医科大学 感染症科

■日時：11月28日(木) 15:40～16:20

■会場：第6会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2)

028 長期療養

座長 大木幸子

(杏林大学 地域看護学)

若林チヒロ

(埼玉県立大学健康開発学科)

028-121 久留米地区における HIV 陽性者の老人 ホーム・介護施設での受け入れの現状

富永正樹¹⁾、石橋幹雄²⁾、三浦美穂³⁾、
片山英希³⁾、野中公美子⁴⁾、大里文誉⁴⁾、
丸山奈津実⁵⁾、星野友昭¹⁾

1) 久留米大学医学部内科学講座 呼吸器・神経・膠原病
内科部門
2) 久留米大学病院薬剤部
3) 久留米大学病院感染制御部
4) 久留米大学病院医療連携センター
5) 久留米大学病院栄養部

028-122 薬害 HIV 感染被害患者における長期療養 への支援提言（第二報）～全国実態調査 からみた、病態悪化時に備えた生活再構 築の課題と支援対応

久地井寿哉、柿沼章子、岩野友里、武田飛呂城、
大平勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団

028-123 薬害 HIV 感染被害患者における長期療養 への支援提言（第三報）～リハビリ検診 会・勉強会の支援成果と全国の均てん化 に向けた課題

岩野友里、久地井寿哉、柿沼章子、武田飛呂城、
大平勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団

028-124 HIV・脳血管疾患・高次機能障害患者の入院～在宅療養に向けた家族看護を中心にした関わり

高橋由起子¹⁾、日下喜久江¹⁾、櫻橋信行²⁾、中村 朗³⁾

1) 地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院 看護局

2) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院 看護局

3) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院 医療連携福祉相談室

4) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院 感染症科

029-127 *in vivo* passage で獲得したサル馴化 HIV-1 の *vif* 遺伝子領域における欠損変異の役割

松岡和弘¹⁾、中田佳宏^{1,2)}、鷺崎彩夏³⁾、芳田 剛³⁾、齊藤 暁³⁾、関 洋平³⁾、大出裕高¹⁾、蜂谷敦子¹⁾、保富康宏⁴⁾、原田恵嘉⁵⁾、石井 洋⁵⁾、俣野哲朗⁵⁾、三浦智行⁶⁾、佐藤賢文⁷⁾、明里宏文^{3,6)}、岩谷靖雅^{1,2)}

1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター・臨床研究センター

2) 名古屋大学大学院医学系研究科

3) 京都大学霊長類研究所・人類進化モデル研究センター

4) 医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医学科学研究センター

5) 国立感染症研究所・エイズ研究センター

6) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所・附属感染症モデル研究センター

7) ヒトレトロウイルス学共同研究センター熊本大学キャンパス

■日時：11月28日(木) 17:00～17:36

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

029 アクセサリー遺伝子

座長 武内寛明

(東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 医歯学系専攻 生体環境応答学講座 ウイルス制御学)

宮川 敬

(横浜市立大学 大学院医学研究科 微生物学)

029-125 HIV-1-related disorders progression is driven by sustained Nef-induced high plasma IL-6 and altered monocytes phenotypes in infected patients

Hesham Nasser

Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan.

029-126 HIV-1 は抗ウイルスタンパク質ヒトBST-2を妨害する機能をどのように獲得したのか

Weitong Yao、芳田 剛、橋本紗希、武内寛明、山岡昇司

東京医科歯科大学 ウイルス制御学分野

■日時：11月28日(木) 16:40～17:30

■会場：第6会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2)

030 薬剤耐性

座長 吉村和久

(東京都健康安全研究センター)

青木孝弘

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

030-128 国内新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV-1 の動向

蜂谷敦子¹⁾、佐藤かおり²⁾、豊嶋崇徳²⁾、
伊藤俊広³⁾、林田庸総⁴⁾、岡 慎一⁴⁾、
潟永博之⁴⁾、古賀道子⁵⁾、長島真美⁶⁾、
貞升健志⁶⁾、近藤真規子⁷⁾、椎野禎一郎⁸⁾、
須藤弘二⁹⁾、加藤真吾⁹⁾、谷口俊文¹⁰⁾、
猪狩英俊¹⁰⁾、寒川 整¹¹⁾、中島秀明¹¹⁾、
吉野友祐¹²⁾、堀場昌秀¹³⁾、太田康男¹³⁾、
茂呂 寛¹⁴⁾、渡邊珠代¹⁵⁾、松田昌和¹⁾、
重見 麗¹⁾、岡崎玲子¹⁾、岩谷靖雅¹⁾、
横幕能行¹⁾、渡邊 大¹⁶⁾、小島洋子¹⁷⁾、
森 治代¹⁷⁾、藤井輝久¹⁸⁾、高田清式¹⁹⁾、
中村麻子²⁰⁾、南 留美²¹⁾、山本政弘²¹⁾、
松下修三²²⁾、健山正男²³⁾、藤田次郎²³⁾、
杉浦 互¹⁾、吉村和久^{6,8)}、菊地 正⁸⁾

- 1) (独) 国立病院機構 名古屋医療センター
- 2) 北海道大学
- 3) (独) 国立病院機構 仙台医療センター
- 4) 国立国際医療研究センター
- 5) 東京大学医科学研究所
- 6) 東京都健康安全研究センター
- 7) 神奈川県衛生研究所
- 8) 国立感染症研究所
- 9) 慶應義塾大学
- 10) 千葉大学
- 11) 横浜市立大学
- 12) 帝京大学
- 13) (独) 国立病院機構 東埼玉病院
- 14) 新潟大学
- 15) 石川県立中央病院
- 16) (独) 国立病院機構 大阪医療センター
- 17) (独) 大阪健康安全基盤研究所
- 18) 広島大学
- 19) 愛媛大学
- 20) 福岡県保健環境研究所
- 21) (独) 国立病院機構 九州医療センター
- 22) 熊本大学
- 23) 琉球大学

030-129 東海ブロックにおける HIV-1 非サブタイプ B の動向調査と伝播性薬剤耐性変異の頻度解析

岡崎玲子¹⁾、重見 麗¹⁾、松田昌和¹⁾、
矢野邦夫²⁾、鶴見 寿³⁾、奥村暢将⁴⁾、
谷口晴記⁵⁾、志智大介⁶⁾、池谷 健⁷⁾、
伊藤公人⁸⁾、松下 正⁹⁾、羽柴智恵子¹⁾、
中畑征史¹⁾、小暮あゆみ¹⁾、今橋真弓¹⁾、
今村淳治¹⁾、岩谷靖雅¹⁾、杉浦 互¹⁾、
吉村和久¹⁰⁾、蜂谷敦子¹⁾、横幕能行¹⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
- 2) 浜松医療センター
- 3) 岐阜大学医学部附属病院
- 4) 安城更生病院
- 5) 地方独立行政法人三重県立総合医療センター
- 6) 聖隷三方原病院
- 7) 藤枝市立総合病院
- 8) 社会医療法人宏潤会大同病院
- 9) 名古屋大学医学部附属病院
- 10) 国立感染症研究所

030-130 当院における HIV-1 インテグラーゼ薬剤耐性検査の検出状況報告

饒平名聖¹⁾、石原美紀¹⁾、島袋末美¹⁾、
渡嘉敷良乃¹⁾、名護珠美¹⁾、上原 仁²⁾、
宮城京子³⁾、前田サオリ³⁾、仲村秀太⁴⁾、
健山正男⁴⁾、前田士郎¹⁾

- 1) 琉球大学医学部附属病院 検査・輸血部
- 2) 琉球大学医学部附属病院 薬剤部
- 3) 琉球大学医学部附属病院 看護部
- 4) 琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座

030-131 当センターにおける逆転写酵素阻害剤 (NRTI) 耐性症例の検討

青木孝弘、安藤尚克、塩尻大輔、上村 悠、
柳川泰昭、水島大輔、西島 健、渡辺恒二、
塚田訓久、田沼順子、照屋勝治、潟永博之、
菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

030-132 INSTI 多剤耐性変異を獲得した 1 例

一木昭人¹⁾、四本美保子¹⁾、蜂谷敦子²⁾、
宮下竜伊¹⁾、上久保淑子¹⁾、近澤悠志¹⁾、
備後真登¹⁾、関谷綾子¹⁾、村松 崇¹⁾、
横田和久¹⁾、萩原 剛¹⁾、天野景裕¹⁾、
木内 英¹⁾

- 1) 東京医科大学病院 臨床検査医学科
- 2) 名古屋医療センター 臨床研究センター

■日時：11月28日(木) 17:36～18:12

■会場：第5会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

031 宿主因子

座長 徳永研三

(国立感染症研究所 感染病理部)

野間口雅子

(徳島大学大学院医歯薬学研究部微生物病原学分野)

031-133 A single amino acid change in an extracellular loop of SERINC5 attenuates the ability to restrict HIV-1 infectivity

Toong Seng Tan, Mako Toyoda, Takamasa Ueno

Division of Infection and Immunity, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan

031-134 HIV-1 Gag 集合初期に関わる内在性集合促進因子の探索

駒 貴明¹⁾、土肥直哉¹⁾、足立昭夫²⁾、野間口雅子¹⁾

1) 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 微生物病原学分野

2) 関西医科大学 医学部 微生物学講座

031-135 Tumor mutator APOBEC3B binds to cellular non-coding RNAs to inhibit retroelements

松本忠彦、白川康太郎、小藪助直、Anamaria Daniela Sarca、Emani Stanford、福田寛文、松井宏行、山崎寛章、数馬安浩、堀澤欣史、高折晃史

京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学

■日時：11月28日(木) 17:30～18:30

■会場：第6会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2)

032 メンタルヘルス・薬物使用

座長 辻麻理子

(国立病院機構九州医療センター)

徐 淑子

(新潟県立看護大学)

032-136 当院のHIV陽性者に対する心理面接での語りからみるメンタルヘルスの課題 - テキストマイニングを用いた質的研究 -

木村聡太¹⁾、小松賢亮¹⁾、霧生瑤子¹⁾、渡邊愛祈²⁾、大金美和¹⁾、池田和子¹⁾、塚田訓久¹⁾、照屋勝治¹⁾、田沼順子¹⁾、湯永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

2) 東京都立小児総合医療センター

032-137 日本人HIV感染者のうつに関連する要因と精神科の受診率：質問紙調査の結果から

鍵浦文子^{1,11)}、喜花伸子²⁾、安尾有加³⁾、佐々木晃子⁴⁾、池田和子⁵⁾、高山次代⁶⁾、川口 玲⁷⁾、羽柴知恵子⁸⁾、東 政美⁹⁾、城崎真弓¹⁰⁾、松山亮太¹¹⁾、梯 正之¹¹⁾

1) 広島国際大学

2) 広島大学病院

3) 神戸医療センター

4) 仙台医療センター

5) 国立国際医療研究センター病院

6) 石川県立中央病院

7) 新潟大学医歯学総合病院

8) 名古屋医療センター

9) 北海道大学病院

10) 九州医療センター

11) 広島大学

032-138 日本人 HIV 陽性者におけるストレス関連成長の実態とその特徴

戸ヶ里泰典¹⁾、井上洋士^{1,2)}、高久陽介³⁾、大島 岳⁴⁾、阿部桜子⁵⁾、細川陸也⁶⁾、塩野徳史⁷⁾、米倉佑貴¹⁰⁾、片倉直子⁹⁾、山内麻江⁸⁾、河合 薫¹¹⁾、若林チヒロ¹²⁾、大木幸子¹³⁾

- 1) 放送大学
- 2) 国立がん研究センター
- 3) NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンプ プラス
- 4) 一橋大学大学院
- 5) (株) TIS
- 6) 名古屋市立大学
- 7) 大阪青山大学
- 8) 了徳寺大学
- 9) 神戸市看護大学
- 10) 聖路加国際大学
- 11) (株) MH レボリューション
- 12) 杏林大学
- 13) 埼玉県立大学

032-139 依存症専門外来でゲイであることを自らカミングアウトした HIV 感染症を有する物質使用障害患者の臨床的特徴

西村康平、板橋登子、福生泰久、黒澤文貴、小林桜児

神奈川県立精神医療センター

032-140 広島大学病院における HIV 陽性者の覚せい剤使用者への支援 - 地域の専門機関へのつながり -

杉本悠貴恵^{1,2)}、喜花伸子^{1,2)}、山崎尚也²⁾、井上暢子²⁾、柿本聖樹⁵⁾、佐々木美希^{1,6)}、宮原明美³⁾、池田有里³⁾、大成杏子^{1,6)}、村上英子^{1,2)}、田中まりの⁴⁾、石井聡一郎⁴⁾、畝井浩子⁴⁾、高田 昇⁷⁾、藤井輝久^{1,2)}

- 1) 広島大学病院 エイズ医療対策室
- 2) 広島大学病院 輸血部
- 3) 広島大学病院 看護部
- 4) 広島大学病院 薬剤部
- 5) 広島大学病院 総合診療科
- 6) 公財エイズ予防財団
- 7) おだ内科クリニック

032-141 薬物使用の告知と法的拘留の関係についての検討

宮林優子¹⁾、松本雅美¹⁾、寺澤美穂¹⁾、野村 誠¹⁾、吉村幸浩²⁾、宮田順之²⁾、堀内弘司²⁾、立川夏夫²⁾

- 1) 横浜市民病院看護部
- 2) 横浜市民病院感染症内科

■日時：11 月 28 日 (木) 18:12 ~ 19:00

■会場：第 5 会場

(熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2)

033 リザーバー・プロウイルス

座長 白川康太郎

(京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科)

前田賢次

(国立国際医療研究センター研究所)

033-142 抗レトロウイルス療法下における HIV-1 プロウイルスの動態

森 治代¹⁾、小島洋子²⁾、阪野文哉¹⁾、川畑拓也¹⁾、森田 諒³⁾、小西啓司³⁾、麻岡大裕³⁾、白野倫徳³⁾、古西 満⁴⁾

- 1) (地独) 大阪健康安全基盤研究所微生物部ウイルス課
- 2) (地独) 大阪健康安全基盤研究所企画部研究企画課
- 3) 大阪市立総合医療センター感染症内科
- 4) 奈良県立医科大学健康管理センター

033-143 piCode™ 技術を適用した高感度 PCR 法による HIV ウイルスリザーバー定量評価法の確立

鈴木一雄¹⁾、石田尚臣²⁾

- 1) St Vincent's Hospital, Sydney, Australia
- 2) 医科学研究所 アジア感染症研究拠点

033-144 Virological and Hematological Analyses of Fibrocytes in HIV-1 Infected Patients

野依 修、Hesham Nasser、Omnia Abdelrahman、Shinya Suzu

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

033-145 HIV 再活性化に伴うアポトーシス誘導能を用いた HIV リザーバー除去に資する新たな Shock & Kill 療法の可能性

松田幸樹¹⁾、服部真一朗¹⁾、土屋亮人²⁾、小早川拓也³⁾、瀧永博之²⁾、吉村和久^{4,5,6)}、岡 慎一²⁾、遠藤泰之⁷⁾、玉村啓和³⁾、満屋裕明^{1,8,9)}、前田賢次^{1,6)}

- 1) 国立国際医療研究センター・難治性ウイルス感染症研究部
- 2) 国立国際医療研究センター・エイズ治療研究開発センター
- 3) 東京医科歯科大学・生体材料工学研究所
- 4) 国立感染症研究所・エイズ研究センター
- 5) 東京都福祉保健局健康安全研究センター
- 6) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 7) 東北医科薬科大学・薬学部
- 8) 熊本大学病院総合臨床研究部
- 9) National Cancer Institute/NIH

■日時：11月28日（木）18:40～19:30

■会場：第6会場

（熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2）

034 情報提供・性行動

座長 井上洋士

（国立がん研究センター がん対策情報センター）

松浦基夫

（堺市立総合医療センター腎代謝免疫内科）

034-146 ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」を用いた HIV 検査相談情報の提供とサイト利用状況の解析

佐野貴子¹⁾、近藤真規子¹⁾、土屋菜歩²⁾、
須藤弘二³⁾、星野慎二⁴⁾、井戸田一朗⁵⁾、
清水茂徳⁶⁾、生島 嗣⁷⁾、岩橋恒太⁸⁾、
今井光信⁹⁾、加藤真吾³⁾、市川誠一¹⁰⁾、
白阪琢磨¹¹⁾、今村顕史¹²⁾

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 2) 東北大学東北メディカル・メガバンク機構
- 3) 株式会社ハナ・メディテック
- 4) 特定非営利活動法人 SHIP
- 5) しらかば診療所
- 6) 東日本国際大学
- 7) 特定非営利活動法人ふれいす東京
- 8) 特定非営利活動法人 akta
- 9) 田園調布学園大学
- 10) 金城学院大学
- 11) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
- 12) 東京都立駒込病院

034-147 MSM を対象とする、2018 年の A 型肝炎の拡大の注意喚起に関する効果評価調査

岩橋恒太¹⁾、金子典代²⁾、荒木 順¹⁾、
木南拓也¹⁾、鈴木敦大¹⁾、堅多敦子³⁾、
今村顕史³⁾

- 1) 特定非営利活動法人 akta
- 2) 名古屋市立大学看護学部
- 3) がん・感染症センター都立駒込病院

034-148 MSM における A 型肝炎流行への対策と効果についての検討

今村顕史¹⁾、堅多敦子¹⁾、岩橋恒太²⁾、
荒木 順²⁾、金子典代³⁾、生島 嗣⁴⁾、
西浦 博⁵⁾、齋藤涼平⁵⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
- 2) 特定非営利活動法人 akta
- 3) 名古屋市立大学大学院看護学研究科
- 4) 特定非営利活動法人ふれいす東京
- 5) 北海道大学大学院医学研究院

034-149 日本の就労成人男性における HIV/ エイズおよび性感染症関連意識と行動に関するアンケート調査

土屋菜歩¹⁾、日高庸晴²⁾、大北全俊³⁾、
渡會睦子⁴⁾、今村顕史⁵⁾

- 1) 東北大学東北メディカル・メガバンク機構
- 2) 宝塚大学看護学部
- 3) 東北大学医学系研究科医療倫理学分野
- 4) 東京医療保健大学医療保健学部
- 5) がん・感染症センター都立駒込病院

034-150 セックスワーカーにおけるセクシュアルヘルスに関する現状

宮階真紀^{1,2)}、塩野徳史^{2,3)}、要友紀子¹⁾、
宮田りりい^{1,2,4)}、松下修三⁵⁾

- 1) SWASH
- 2) MASH 大阪
- 3) 大阪青山大学
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団
- 5) 熊本大学

■日時：11月29日（金）9:00～9:40

■会場：第4会場

（熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3）

035 服薬アドヒアランス

座長 吉野宗宏

（国立病院機構宇多野病院 薬剤部）

嶺 豊春

（長崎大学病院 薬剤部）

035-151 月 1 回の注射製剤に関するアンケートを用いた毎日の服薬に対するストレスの調査

笠松 悠^{1,2)}、小西啓司²⁾、麻岡大裕²⁾、
中河秀憲²⁾、白野倫徳²⁾、後藤哲志²⁾、
市田裕之³⁾、藤田直久¹⁾

- 1) 京都府立医科大学 感染症科
- 2) 大阪市立総合医療センター 感染症内科
- 3) 大阪市立総合医療センター 薬剤部

035-152 患者アンケートによるお薬手帳認識調査及び薬局における抗 HIV 用薬調剤時の副作用確認とお薬手帳活用の問題点

井上正朝¹⁾、眞鍋貴行²⁾、三嶋一登¹⁾、
福土将秀¹⁾、田崎嘉一^{1,2)}

- 1) 旭川医科大学病院薬剤部
- 2) 旭川医科大学病院臨床研究支援センター

035-153 HIV 感染症治療における院外処方移行促進のための病院 - 保険薬局間での情報共有に対する取り組み

松井綾香¹⁾、野村直幸¹⁾、村上由佳¹⁾、
藤原千尋¹⁾、飯塚暁子¹⁾、木梨貴博¹⁾、
門田悦子¹⁾、齋藤誠司¹⁾、坂田達朗¹⁾、
和田秀穂²⁾

1) 独立行政法人国立病院機構 福山医療センター エ
イズ治療センター
2) 川崎医科大学病院 血液内科

035-154 山梨県における HIV 患者の院外処方化の試み

Aiju Endo, Taiki Ishibe,
Yongching Kim, Kazumi Hanawa,
Yoshifumi Kobayashi,
Seiichi Yamamoto

山梨県立中央病院

■日時：11 月 29 日（金）9:00～9:50

■会場：第 5 会場

（熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2）

036 医療体制・連携

座長 横幕能行

（国立病院機構 名古屋医療センター）

池田和子

（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

036-155 ACC 救済医療室が行った病病連携における薬害 HIV 感染者と紹介元医療者の満足度調査

大杉福子¹⁾、大金美和¹⁾、阿部直美¹⁾、
池田和子¹⁾、久地位寿哉²⁾、岩野友里²⁾、
柿沼章子²⁾、大平勝美²⁾、田沼順子¹⁾、
瀧永博之¹⁾、藤谷順子³⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院工
イズ治療・研究開発センター
2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
3) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院リ
ハビリテーション科

036-156 二次医療圏から考えるエイズ診療拠点病院の配置

今橋真弓^{1,2)}、岡 慎一²⁾、伊藤俊広³⁾、
山本政弘⁴⁾、内藤俊夫⁵⁾、遠藤知之⁶⁾、
茂呂 寛⁷⁾、渡邊珠代⁸⁾、渡邊 大⁹⁾、
藤井輝久¹⁰⁾、宇佐美雄司¹⁾、池田和子²⁾、
吉野宗宏¹¹⁾、本田美和子¹²⁾、葛田衣重¹³⁾、
三木浩司¹⁴⁾、四柳 宏¹⁵⁾、横幕能行¹⁾

1) 名古屋医療センター
2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発セ
ンター
3) 仙台医療センター 感染症内科
4) 九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター
5) 順天堂大学医学部総合診療科研究室
6) 北海道大学大学院医学研究科 血液内科学教室
7) 新潟大学医歯学総合病院 感染管理部
8) 石川県立中央病院 免疫感染症科
9) 大阪医療センター 臨床研究センターエイズ先端医
療研究部
10) 広島大学病院 輸血部
11) 宇田野病院 薬剤部
12) 東京医療センター 総合内科
13) 千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部
14) 小倉記念病院 緩和ケア・精神科
15) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター

036-157 本邦における HIV 感染者・AIDS 発症者数の動向と ART の医療経済的解析

Kazumi Omata, Yoshimi Kikuchi,
Shin-ichi Oka, Hiroaki Mitsuya

国立国際医療研究センター

036-158 感染防止対策加算を算定している病院で HIV 感染者を診療できるか

谷口俊文¹⁾、高柳 晋¹⁾、築地茉莉子²⁾、
葛田衣重³⁾、鈴木明子⁴⁾、猪狩英俊¹⁾

1) 千葉大学医学部附属病院感染症内科
2) 千葉大学医学部附属病院薬剤部
3) 千葉大学医学部附属病院地域医療連携部
4) 城西国際大学看護学部

036-159 当院における HIV 診療体制と外来通院患者における相談事項について

石原正志^{1,2)}、杉山仁美³⁾、松井完二⁴⁾、
山口公大⁵⁾、生駒良和⁵⁾、鈴木昭夫²⁾、
鶴見 寿^{5,6)}

1) 岐阜大学医学部附属病院先端医療・臨床研究推進セン
ター
2) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
3) 岐阜大学医学部附属病院看護部
4) 岐阜大学医学部附属病院医療支援課
5) 岐阜大学医学部附属病院血液内科
6) 松波総合病院血液内科

■日時：11月29日（金）9:00～10:00

■会場：第6会場

（熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2）

037 症例報告

座長 宮川寿一

（公立玉名中央病院 感染症内科）

藤井輝久

（広島大学 病院輸血部 輸血部）

037-160 非定型抗酸菌症とニューモシスティス肺炎が合併し重篤な肺障害を呈した AIDS の一例

池田 博¹⁾、稗田広美²⁾、宮越郁子²⁾、
又村了輔³⁾、國本雄介³⁾、種村理恵子⁴⁾、
五十嵐友彦⁴⁾、小船雅義¹⁾

1) 札幌医科大学血液内科

2) 札幌医科大学付属病院看護部

3) 札幌医科大学付属病院薬剤部

4) 札幌医科大学歯科口腔外科

037-161 膀胱直腸障害を主訴に来院しサイトメガロウイルス脊髄炎・神経根炎と診断した 1 例

福岡里紗、中河秀憲、中川裕太、森田 諒、
山根和彦、小西啓司、麻岡大裕、白野倫徳、
後藤哲志

大阪市立総合医療センター感染症内科

037-162 抗 HIV 療法開始に伴い refeeding edema を呈した一例

高嶋英樹、阿部公俊、中尾安秀

医療法人財団明理会新松戸中央総合病院

037-163 治療に難渋した HIV 合併重症潰瘍性大腸炎の 1 例

中島由紀子

川崎市立井田病院

037-164 難治性潰瘍性大腸炎の治療経過中に HIV 感染症を合併し、寛解に至った症例

藤城 綾、田代晴加、雑賀 渉、寺本由加子、
浅井 愛、岩佐磨佐紀、西村理恵、河原真大、
南口仁志、木藤克之、安藤 朗

滋賀医科大学血液内科

037-165 胃十二指腸梅毒による多発潰瘍でショック状態を呈した HIV 感染例

中本貴人¹⁾、泉 敦子²⁾、柳川泰昭¹⁾、
安藤尚克¹⁾、塩尻大輔¹⁾、上村 悠¹⁾、
水島大輔¹⁾、西島 健¹⁾、青木孝弘¹⁾、
渡辺恒二¹⁾、田沼順子¹⁾、照屋勝治¹⁾、
塚田訓久¹⁾、湯永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、
秋山純一²⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

2) 国立国際医療研究センター 消化器内科

■日時：11月29日（金）9:40～10:20

■会場：第4会場

（熊本城ホール 3F 中会議室 B1-B3）

038 臨床薬理

座長 増田純一

（国立国際医療研究センター病院 薬剤部）

土屋亮人

（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

038-166 HIV 患者におけるラルテグラビル 1200mg 1 日 1 回服用の血漿中濃度についての検討

土屋亮人¹⁾、林田庸総¹⁾、濱田哲暢^{2,3)}、
菊池 嘉¹⁾、岡 慎一^{1,4)}、湯永博之^{1,4)}

1) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

2) 国立がん研究センター研究所 臨床薬理研究分野

3) 熊本大学大学院医学教育学部 腫瘍治療・トランスレーショナルリサーチ学分野

4) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

038-167 ラルテグラビルカリウムの投与方法間におけるトラフ血漿中濃度の比較検討

櫛田宏幸¹⁾、中内崇夫¹⁾、矢倉裕輝¹⁾、
榊田智仁²⁾、廣田和之²⁾、上地隆史²⁾、
渡辺 大²⁾、西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、
白阪琢磨²⁾

1) 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部

2) 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

038-168 テノホビルアラフェナミド投与時のテノホビル血漿トラフ濃度に関する検討

矢倉裕輝¹⁾、中内崇夫¹⁾、櫛田宏幸¹⁾、
榊田智仁²⁾、廣田和之²⁾、上地隆史²⁾、
渡辺 大²⁾、西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、
白阪琢磨²⁾

1) 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部

2) 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

038-169 Raltegravir の用法用量変更に伴う血中濃度推移と UGT1A1 遺伝子多型との関連性の検討

神尾咲留未¹⁾、阿部憲介¹⁾、近藤 旭¹⁾、
後藤達也¹⁾、真山晃史²⁾、鈴木美絵子³⁾、
佐々木晃子³⁾、今村淳治³⁾、伊藤俊広³⁾

1) 国立病院機構仙台医療センター 薬剤部
2) 国立病院機構仙台医療センター 検査科
3) 国立病院機構仙台医療センター 感染症内科

■日時：11月29日（金）9:50～10:30

■会場：第5会場

（熊本城ホール 3F 中会議室 C1-C2）

039 医療者教育・支援

座長 高田清式

（愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研究センター）

宮城京子

（琉球大学医学部附属病院）

039-170 医療従事者の HIV 感染者受け入れへの不安 —HIV 出張研修アンケートからの検討—

中川雄真、川口 玲、内山正子、井越由美枝、
野田順子、三枝祐美、茂呂 寛

新潟大学医学部総合病院

039-171 HIV 医療チーム対象の症例検討型多職種包括的研修会の効果についての検討

喜花伸子^{1,2)}、杉本悠貴恵^{1,2)}、内野悌司³⁾、
畝井浩子⁴⁾、村上英子^{1,2)}、宮原明美⁵⁾、
池田有里⁵⁾、山崎尚也²⁾、高田 昇⁶⁾、
藤井輝久^{1,2)}

1) 広島大学病院エイズ医療対策室
2) 広島大学病院輸血部
3) 広島修道大学健康科学部
4) 広島大学病院薬剤部
5) 広島大学病院看護部
6) おだ内科クリニック

039-172 HIV 診療拠点病院における初期臨床研修中における HIV 患者診療・教育の状況～アンケート調査～

Ikai Hiroki¹⁾、宮本愛梨沙²⁾、那波みゆき²⁾、
宇高 歩²⁾、石坂敏彦²⁾、西田幸司²⁾、
松浦基夫²⁾

1) 中部ろうさい病院 リウマチ膠原病・腎感染症科
2) 堺市立総合医療センター

039-173 大阪府内における精神科診療機関の HIV 陽性者の受診および受け入れ体制

金井講治¹⁾、長瀬亜岐²⁾、池田 学¹⁾

1) 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室
2) 大阪大学大学院連合小児発達学研究科行動神経学・神経精神医学寄附講座

■日時：11月29日（金）10:00～10:50

■会場：第6会場

（熊本城ホール 3F 中会議室 D1-D2）

040 肝炎

座長 四柳 宏

（東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科）

萩原 剛

（東京医科大学臨床検査医学分野）

040-174 MSM における A 型肝炎ワクチン接種後の抗体価推移の検討

上村 悠、水島大輔、高野 操、塩尻大輔、
安藤尚克、柳川泰昭、西島 健、青木孝弘、
渡辺恒二、田沼順子、塚田訓久、照屋勝治、
潟永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター

040-175 HIV 感染者における A 型肝炎ワクチン（エイムゲン）の効果の検討

古賀道子¹⁾、堤 武也¹⁾、千光寺智恵¹⁾、
久保田めぐみ¹⁾、安達英輔²⁾、菊地 正²⁾、
林 阿英²⁾、津田春香¹⁾、池内和彦¹⁾、
奥新和也³⁾、鯉渕智彦²⁾、四柳 宏^{1,2)}

1) 東京大学医科学研究所感染症分野
2) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
3) 東京大学医学部附属病院 感染制御部

040-176 HIV 合併もしくは非合併血友病患者における C 型慢性肝炎に対する IFN フリー DAA の治療成績

萩原 剛、宮下竜伊、上久保淑子、一木昭人、
近澤悠志、備後真登、関谷綾子、村松 崇、
横田和久、四本美保子、金子 誠、天野景裕、
福武勝幸、木内 英

東京医科大学臨床検査医学分野

040-177 2018年度血液凝固異常症全国調査によるHIV感染血液凝固異常症におけるC型肝炎の状況について

立浪 忍¹⁾、天野影裕²⁾、白幡 聡³⁾、
大平勝美⁴⁾、花井十伍⁵⁾、杉山真一⁶⁾、
桑原理恵⁷⁾、秋田美恵子¹⁾、瀧 正志⁸⁾

1) 聖マリアンナ医科大学 小児科

2) 東京医大臨床検査医学

3) 北九州八幡東病院

4) はばたき福祉事業団

5) ネットワーク医療と人権

6) 原後綜合法律事務所

7) 聖マリアンナ医大臨床研究データセンター

8) 聖マリアンナ医大横浜市西部病院小児科

040-178 HIV/HBV 共感染例の長期経過

村松 崇、宮下竜伊、上久保淑子、一木昭人、
近澤悠志、備後真登、関谷綾子、横田和久、
四本美保子、萩原 剛、天野景裕、福武勝幸、
木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科

一般演題プログラム

(一般演題) ポスター

※本号 (() 内) のページ数を掲載しております。

(一般演題) ポスター

ポスター貼付・自由閲覧	貼 付	11月27日(水) 9:00～17:00
	自由閲覧	11月27日(水) 9:00～17:00
		11月28日(木) 9:00～10:30 / 12:30～15:20 / 18:30～19:30
		11月29日(金) 9:00～11:00
発 表	【臨床部門】	奇数番号: 11月28日(木) 10:30～11:30
		偶数番号: 11月28日(木) 11:30～12:30
	【基礎部門】	奇数番号: 11月28日(木) 15:20～16:05
		偶数番号: 11月28日(木) 16:05～16:50
	【社会部門】	11月28日(木) 17:00～18:30
ポスター撤去		11月29日(金) 11:00～12:00

		プログラム/抄録	
臨床	日和見感染	P001	P.79 P.297
	悪性腫瘍	P002～P006	P.79 P.297
	肝炎	P007	P.79 P.300
	生活習慣病関連合併症	P008～P012	P.80 P.300
	免疫再構築症候群	P013～P014	P.80 P.303
	HAND	P015～P016	P.80 P.304
	抗 HIV 療法	P017～P030	P.81 P.305
	臨床薬理	P031	P.82 P.312
	服薬アドヒアランス	P032～P035	P.82 P.312
	STI・STD	P036	P.83 P.314
	母子感染	P037～P040	P.83 P.315
	歯科	P041～P043	P.83 P.317
	看護	P044～P052	P.84 P.318
	PEP/nPEP/PrEP	P053	P.84 P.323
	症例報告	P054～P058	P.85 P.323
	HIV 感染症一般・その他	P059～P065	P.85 P.326
	アンコール演題	P066～P077	P.86 P.329
基礎	複製	P078	P.89 P.335
	宿主因子	P079	P.89 P.336
	構造	P080～P081	P.89 P.336
	感染機構	P082～P083	P.89 P.337
	免疫	P084～P088	P.90 P.338
	動物モデル	P089～P090	P.90 P.341
	新薬開発	P091～P094	P.91 P.342
	薬剤耐性	P095	P.91 P.344
	抗 HIV 療法	P096～P099	P.91 P.344
	分子疫学	P100～P103	P.92 P.346
	悪性腫瘍	P104	P.92 P.348
社会	教育	P105～P106	P.93 P.349
	予防・検査・相談	P107～P109	P.93 P.350
	薬害	P110～P112	P.93 P.351
	陽性者支援	P113～P116	P.93 P.353
	在宅療養支援	P117～P119	P.94 P.355
	その他	P120～P122	P.94 P.356

一般演題 (ポスター)

■会場：熊本城ホール 3階 ポスター・展示会場

■ポスター貼付・自由閲覧

貼付

11月27日(水) 9:00～17:00

自由閲覧

11月27日(水) 9:00～17:00

11月28日(木) 9:00～10:30

12:30～15:20

18:30～19:30

11月29日(金) 9:00～11:00

■発表

【臨床部門】

奇数番号：11月28日(木)10:30～11:30

偶数番号：11月28日(木)11:30～12:30

【基礎部門】

奇数番号：11月28日(木)15:20～16:05

偶数番号：11月28日(木)16:05～16:50

【社会部門】

11月28日(木)17:00～18:30

■ポスター撤去

11月29日(金)11:00～12:00

臨床 日和見感染

P001 ニューモシスチス肺炎に対する予防治療期間に関する検討

山口公大¹⁾、石原正志^{2,3)}、生駒良和¹⁾、渡邊珠代⁴⁾、杉山仁美⁵⁾、鶴見 寿^{1,6)}

- 1) 岐阜大学医学部附属病院 血液内科
- 2) 岐阜大学医学部附属病院先端医療・臨床研究推進センター
- 3) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
- 4) 石川県立中央病院免疫感染症科
- 5) 岐阜大学医学部附属病院看護部
- 6) 松波総合病院血液内科

臨床 悪性腫瘍

P002 合成卵胞ホルモン剤服用下で R-CHOP 療法を施行した HIV に合併した悪性リンパ腫の一例

那波みゆき¹⁾、宮本愛梨沙¹⁾、宇高 歩¹⁾、石坂敏彦¹⁾、小川吉彦²⁾、松浦基夫³⁾

- 1) 地方独立行政法人堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
- 2) 同 感染症内科
- 3) 同 腎代謝免疫内科

P003 メソトレキセート大量療法で治療した中枢神経原発悪性リンパ腫の2例

寒川 整¹⁾、酒井梨紗¹⁾、中村大志²⁾、加藤英明¹⁾、山本哲哉²⁾、中島秀明¹⁾

- 1) 横浜市立大学医学部血液・免疫・感染症内科学
- 2) 横浜市立大学医学部脳神経外科学

P004 大量メソトレキセート併用化学療法が奏功した HIV 関連リンパ腫の2例

近藤陽介、安井晴之進、福田寛文、竹内麻子、徳永博俊、近藤英生、和田秀穂

川崎医科大学血液内科学

P005 ATL 様の flower cell を呈した治療抵抗性 T 細胞腫瘍に対して造血幹細胞移植を行った HIV 感染症の一例

澤田暁宏¹⁾、徳川多津子¹⁾、島袋翔多²⁾、日笠真一²⁾、福永景子¹⁾、池亀和博¹⁾、岡田昌也¹⁾、日笠 聡¹⁾、藤盛好啓¹⁾

- 1) 兵庫医科大学血液内科
- 2) 兵庫医科大学病院薬剤部

P006 巨大肺腫瘍による入院が契機となり診断に到った HIV 感染症例

齊藤誠司^{1,2)}、村上由佳²⁾、野村直幸²⁾、松井綾香²⁾、藤原千尋²⁾、飯塚暁子²⁾、木梨貴博²⁾、坂田達朗²⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構 福山医療センター 感染症内科
- 2) 同 広島県東部地区エイズ治療センター

臨床 肝炎

P007 薬害 HIV/HCV 共感染血友病患者の肝細胞癌に対する重粒子線治療

柳澤邦雄¹⁾、小川孔幸²⁾、渋谷 圭^{3,4)}、柴慎太郎^{3,4)}、石崎芳美⁵⁾、北田陽子^{4,5)}、真野 浩⁶⁾、佐々木晃子⁷⁾、伊藤俊広⁷⁾、吉丸洋子⁸⁾、高木雅敏⁹⁾、松下修三¹⁰⁾、大杉福子¹¹⁾、大金美和¹¹⁾、潟永博之¹¹⁾、田沼順子¹¹⁾、岡 慎一¹¹⁾、半田 寛²⁾、大野達也^{3,4)}

- 1) 群馬大学医学部附属病院 感染制御部
- 2) 群馬大学医学部附属病院 血液内科
- 3) 群馬大学医学部附属病院 放射線科
- 4) 群馬大学医学部附属病院 重粒子線医学センター
- 5) 群馬大学医学部附属病院 看護部
- 6) 国立病院機構仙台医療センター 消化器内科
- 7) 国立病院機構仙台医療センター 感染症内科
- 8) 熊本大学病院 消化器内科
- 9) 熊本大学 看護部
- 10) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 11) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

臨床 生活習慣病関連合併症

- P008 抗 HIV 療法の時代における本邦の HIV 感染例の予後と関連因子の研究**
西島 健、安藤尚克、塩尻大輔、上村 悠、柳川泰昭、水島大輔、青木孝弘、渡辺恒二、塚田訓久、田沼順子、照屋勝治、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一
国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター
- P009 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 2 報 循環器疾患等の状況**
川戸美由紀¹⁾、橋本修二¹⁾、大金美和²⁾、岡 慎一²⁾、岡本 学³⁾、瀧永博之²⁾、日笠 聡⁴⁾、福武勝幸⁵⁾、八橋 弘⁶⁾、白阪琢磨³⁾
1) 藤田医科大学医学部衛生学講座
2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
3) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター
4) 東京医科大学 医学部 臨床検査医学講座
5) 兵庫医科大学病院 血液内科
6) 国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター
- P010 ART 選択に影響する患者因子についての検討**
安田明子¹⁾、成田綾香¹⁾、小谷岳春²⁾、齋藤千鶴²⁾、渡邊珠代³⁾
1) 石川県立中央病院 薬剤部
2) 石川県立中央病院 血液免疫内科
3) 石川県立中央病院 免疫感染症内科
- P011 抗 HIV 療法施行患者における降圧薬開始のリスク因子の探索**
西田桜子¹⁾、島袋翔多¹⁾、秀田恭子¹⁾、日笠真一¹⁾、日笠 聡²⁾、澤田暁宏²⁾、徳川多津子²⁾、田中邦佳¹⁾、柳井美奈¹⁾、木村 健¹⁾
1) 兵庫医科大学病院 薬剤部
2) 兵庫医科大学 血液内科
- P012 テノホビルジソプロキシフマル酸塩からテノホビルアラフェナミドフマル酸へ変更後の骨への影響について**
山本有紀¹⁾、竹松茂樹¹⁾、平岡亮太²⁾、平野克也²⁾、水野翔馬²⁾、大西康貴²⁾、鏡 亮吾²⁾、勝田倫子²⁾、水守康之²⁾、砂金秀美¹⁾
1) 国立病院機構 姫路医療センター薬剤部
2) 国立病院機構 姫路医療センター 呼吸器内科

臨床 免疫再構築症候群

- P013 抗 HIV 療法開始直後に増悪したアメーバ性大腸炎・アメーバ性肝膿瘍の 1 例**
小西啓司、中川裕太、福岡里紗、森田 諒、山根和彦、麻岡大裕、中河秀憲、白野倫徳、後藤哲志
大阪市立総合医療センター 感染症内科
- P014 抗 HIV 薬開始から 3 年半後に発症し、診断・治療に難渋したクリプトコッカス髄膜炎・免疫再構築症候群の 1 例**
寒川 整、酒井梨紗、加藤英明、中島秀明
横浜市立大学医学部血液・免疫・感染症内科学

臨床 HAND

- P015 中国四国地方における HIV 関連神経認知障害に関する研究－体制構築－**
西田拓洋¹⁾、中尾 綾²⁾、中村美保¹⁾、川田通子³⁾、海面 敬⁴⁾、臼井麻子⁵⁾、池谷千恵⁶⁾、吉川由香³⁾、武内世生¹⁾、窪田良次³⁾、尾崎修治⁴⁾、佐藤 穰⁵⁾、千酌浩樹⁶⁾、和田秀穂⁷⁾、山下 光⁸⁾、山之内純²⁾、高田清式²⁾
1) 高知大学医学部附属病院
2) 愛媛大学医学部附属病院
3) 香川大学医学部附属病院
4) 徳島県立中央病院
5) 関門医療センター
6) 鳥取大学医学部附属病院
7) 川崎医科大学附属病院
8) 愛媛大学
- P016 HIV 関連神経認知障害 (HAND) における髄液中のネオプテリン量および HIV-RNA 量と様々の ART 療法後の変化**
高田清式¹⁾、末盛浩一郎²⁾、山之内純²⁾、西川典子³⁾、辻井智明³⁾、井門啓子⁴⁾、木村博史⁴⁾、乗松真大⁴⁾、武田玲子⁵⁾、若松 綾⁶⁾、小野恵子⁶⁾、中尾 綾²⁾
1) 愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター
2) 愛媛大学医学部附属病院 第一内科
3) 愛媛大学医学部附属病院 薬物療法・神経内科
4) 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部
5) 愛媛大学医学部附属病院 看護部
6) 愛媛大学医学部附属病院 総合医療サポートセンター

臨床 抗 HIV 療法

P017 HIV 感染症の診断から初回抗 HIV 療法導入までの期間とそのウイルス学的効果に関する研究

田沼順子、岡 慎一、菊池 嘉、潟永博之、照屋勝治、塚田訓久、渡辺恒二、青木孝弘、水島大輔、柳川泰昭、上村 悠、西島 健

国立研究開発法人国立国際医療研究センター

P018 当院 HIV 陽性患者における CD4 陽性リンパ球数年次推移の検討

坂部茂俊¹⁾、田中宏幸¹⁾、中西雄紀¹⁾、豊島弘一¹⁾、荒木 潤²⁾、小倉香里³⁾、森尾志保³⁾、服部公紀⁴⁾

1) 伊勢赤十字病院感染症内科
2) 伊勢赤十字病院肝臓内科
3) 伊勢赤十字病院 看護部
4) 伊勢赤十字病院薬剤部

P019 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 1 報 健康状態と生活状況の概要

白阪琢磨¹⁾、橋本修二²⁾、川戸美由紀²⁾、大金美和³⁾、岡本 学¹⁾、潟永博之³⁾、日笠 聡⁴⁾、福武勝幸⁵⁾、八橋 弘⁶⁾、岡 慎一³⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター
2) 藤田医科大学
3) 国立国際医療研究センター
4) 兵庫医科大学
5) 東京医科大学
6) 国立病院機構長崎医療センター

P020 TDF/FTC から TAF/FTC へのスイッチが骨密度及び骨代謝マーカーに及ぼす影響

吉野友祐¹⁾、山本 藍¹⁾、三須恵太¹⁾、若林義賢¹⁾、北沢貴利¹⁾、太田康男^{1,2)}

1) 帝京大学医学部内科学講座感染症
2) 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院内科

P021 左腎萎縮患者に対するテノホビル製剤長期使用の経験

國本雄介¹⁾、又村了輔¹⁾、北川 学¹⁾、木明智子¹⁾、中田浩雅¹⁾、池田 博²⁾、宮本 篤¹⁾

1) 札幌医科大学附属病院 薬剤部
2) 札幌医科大学 医学部 血液内科

P022 当院における NRTI sparing regimen の治療効果と安全性

石井聡一郎¹⁾、田中まりの¹⁾、藤井健司¹⁾、藤田啓子²⁾、畝井浩子¹⁾、柿本聖樹³⁾、井上暢子⁴⁾、山崎尚也⁴⁾、高田 昇⁵⁾、藤井輝久^{4,6)}

1) 広島大学病院薬剤部
2) 医療法人社団輔仁会太田川病院薬剤部
3) 広島大学病院総合診療科
4) 広島大学病院輸血部
5) おだ内科クリニック
6) 広島大学病院エイズ医療対策室

P023 当院におけるラルテグラビル 600mg 製剤切り替え後の忍容性および有効性に関する検討

秋根 大、外島正樹、森澤雄司

自治医科大学附属病院 感染症科

P024 DRV/c を含む NRTI sparing 2 剤併用 regimen 3 症例の検討

宮本愛梨沙¹⁾、宇高 歩¹⁾、那波みゆき¹⁾、石坂俊彦¹⁾、小川吉彦²⁾、草間加与³⁾、西田幸司³⁾、松浦基夫⁴⁾

1) 堺市立総合医療センター
2) 同 感染症内科
3) 同 呼吸器内科
4) 同 腎代謝免疫内科
5) 同 診療局

P025 当院におけるラルテグラビル 600mg 錠の使用経験

梅崎実弥子¹⁾、市田裕之¹⁾、白野倫徳²⁾、中川裕太²⁾、福岡里紗²⁾、森田 諒²⁾、山根和彦²⁾、小西啓司²⁾、麻岡大裕²⁾、中河秀憲²⁾、後藤哲志²⁾

1) 大阪市立総合医療センター薬剤部
2) 大阪市立総合医療センター感染症内科

P026 一次結核を発症した生後 7 ヶ月の HIV 陽性乳児において TDM によるラルテグラビル投与量設定が奏功した 1 例

仲村秀太¹⁾、健山正男¹⁾、名嘉山賀子²⁾、上原 仁³⁾、前田さおり³⁾、宮城京子³⁾、藤田次郎¹⁾

1) 琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座
2) 琉球大学大学院医学研究科育成医学講座
3) 琉球大学医学部附属病院薬剤部
4) 琉球大学医学部附属病院看護部

P027 ドルテグラビルの血中濃度モニタリングを実施したHIV陽性血液透析患者の1例

松本千鶴¹⁾、平野 淳¹⁾、加藤万理¹⁾、
福島直子¹⁾、松岡梨恵¹⁾、今橋真弓²⁾、
蜂谷敦子³⁾、岩谷靖雅³⁾、中井正彦¹⁾、
横幕能行²⁾

- 1) 国立病院機構 名古屋医療センター 薬剤部
- 2) 国立病院機構 名古屋医療センター エイズ治療開発センター
- 3) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター（感染・免疫研究部）

P028 Integrase 領域の薬剤耐性 HIV 患者に ART 変更を行った一例

木元慎一郎¹⁾、藤井常宏²⁾、森下和美³⁾

- 1) 富士市立中央病院薬剤科
- 2) 富士市立中央病院血液内科
- 3) 沼津市立中央病院薬剤部

P029 経験豊富なエイズ指導医との連携により Salvage 療法が奏功した1例

西田裕介¹⁾、山下裕敬¹⁾、山本 慧¹⁾、
川村隆之²⁾、野崎由迅¹⁾、酒井 純²⁾、
小野大輔²⁾、三村一行¹⁾、岡 秀昭^{1,2)}、
大野秀明²⁾

- 1) 埼玉医科大学総合医療センター総合診療内科・感染症科
- 2) 埼玉医科大学総合医療センター感染症科・感染症制御科

P030 他診療科入院中の HIV 陽性者における HIV 感染症薬物療法認定薬剤師等の薬学的管理に関する検討

松岡梨恵¹⁾、平野 淳¹⁾、加藤万理¹⁾、
福島直子¹⁾、松本千鶴¹⁾、今橋真弓²⁾、
蜂谷敦子³⁾、岩谷靖雅³⁾、中井正彦¹⁾、
横幕能行²⁾

- 1) 名古屋医療センター 薬剤部
- 2) 名古屋医療センター エイズ治療開発センター
- 3) 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部

臨床 臨床薬理

P031 フェニトインとカルバマゼピン内服患者において、ドルテグラビルの血中濃度の検討を行った1症例

合原嘉寿^{1,2,3)}、大石裕樹^{1,2,3)}、西野 隆⁴⁾、
小山和彦^{2,3,5)}、高濱宗一郎^{2,3,5)}、
南 留美^{2,3,5)}、高島伸也^{1,2,3)}、山本政弘^{2,3,5)}

- 1) 国立病院機構九州医療センター 薬剤部
- 2) 国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター
- 3) 国立病院機構九州医療センター 臨床研究センター
- 4) 高邦会高木病院 薬剤部
- 5) 国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科

臨床 服薬アドヒアランス

P032 アバカビル/ラミブジン/ドルテグラビル配合錠の簡易懸濁法を用いた服薬支援の一例

稲村由香¹⁾、鈴木克典²⁾、田中美佐子³⁾、
野田雅美⁴⁾、曾我真千恵⁵⁾、齋藤和義⁶⁾、
田中良哉⁵⁾

- 1) 産業医科大学病院 薬剤部
- 2) 同 感染制御部
- 3) 同 看護部
- 4) 同 事務部 患者サービス室
- 5) 同 第一内科学
- 6) 戸畑総合病院

P033 トキソプラズマ脳炎治療薬における簡易懸濁法の検討

関根祐介^{1,5)}、笹津備尚²⁾、篠澤圭子^{3,5)}、
萩原 剛^{4,5)}、天野景裕^{4,5)}、福武勝幸^{4,5)}

- 1) 東京医科大学病院 薬剤部
- 2) 星薬科大学 基礎実習研究センター／組織再生学
- 3) 東京医科大学 血液凝固異常症遺伝子研究寄附講座
- 4) 東京医科大学 臨床検査医学分野
- 5) 厚生労働省エイズ治療薬研究班

P034 抗 HIV 薬服用患者に対する薬剤師による外来服薬指導の現状と今後の展望

霧生彩子¹⁾、熊木絵美¹⁾、内坪敬太¹⁾、
小林瑞季¹⁾、古屋貴人¹⁾、長島浩二¹⁾、
押賀充則¹⁾、増田純一¹⁾、田沼順子²⁾、
照屋勝治²⁾、湯永博之²⁾、塚田訓久²⁾、
寺門浩之¹⁾、菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部
- 2) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

P035 保険薬剤師が長期に服薬支援を担っていくうえでの課題—学習会参加者アンケートから見えてきたもの—

海老昌子¹⁾、井上将貴³⁾、塩見 拓¹⁾、
須田充彦¹⁾、田上直美¹⁾、田橋美佳¹⁾、
中島郁枝¹⁾、圓岡大典¹⁾、宮崎菜穂子¹⁾、
吉場雅一朗¹⁾、土井信幸^{1,3)}

- 1) smART 応需
2) 調剤薬局ツルハドラッグ白金台店
3) 高崎健康福祉大学薬学部 地域医療薬学研究室

臨床 STI・STD

P036 赤痢アメーバ症と、HIV 感染症を含むその他の性感染症の関連

小林泰一郎¹⁾、藤原 翔¹⁾、福島一彰¹⁾、
田中 勝¹⁾、矢嶋敬史郎¹⁾、味澤 篤^{1,2)}、
今村顕史¹⁾

- 1) がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科
2) 東京都立北療育医療センター

臨床 母子感染

P037 未受診妊婦の HIV スクリーニングの現状—妊婦 HIV スクリーニング検査率に関する全国調査より

大里和広¹⁾、吉野直人²⁾、伊藤由子²⁾、
小山理恵²⁾、高橋尚子²⁾、杉浦 敦²⁾、
田中瑞恵²⁾、山田里佳²⁾、谷口晴記²⁾、
桃原祥人²⁾、定月みゆき²⁾、塚原優己²⁾、
喜多恒和²⁾

- 1) 市立四日市病院産婦人科
2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コ
ホートの調査研究と情報の普及啓発法ならびに診療
体制の整備と均てん化に関する研究」班

P038 妊婦 HIV スクリーニング検査陽性症例の診療対応 —産婦人科全国調査—

吉野直人^{1,2)}、伊藤由子²⁾、大里和広²⁾、
小山理恵²⁾、高橋尚子^{1,2)}、杉浦 敦²⁾、
田中瑞恵²⁾、谷口晴記²⁾、山田里佳²⁾、
桃原祥人²⁾、定月みゆき²⁾、外川正生²⁾、
喜多恒和²⁾

- 1) 岩手医科大学 医学部 微生物学講座 感染症学・免
疫学分野
2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コ
ホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならび
に診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

P039 HIV 感染児の診療対応—小児科全国調査—

吉野直人^{1,2)}、田中瑞恵²⁾、伊藤由子²⁾、
大里和広²⁾、小山理恵²⁾、高橋尚子^{1,2)}、
杉浦 敦²⁾、谷口晴記²⁾、山田里佳²⁾、
桃原祥人²⁾、定月みゆき²⁾、外川正生²⁾、
喜多恒和²⁾

- 1) 岩手医科大学 医学部 微生物学講座 感染症学・免
疫学分野
2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コ
ホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならび
に診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

P040 HIV および梅毒感染妊婦に関する全国調査

伊藤由子^{1,2)}、吉野直人²⁾、杉浦 敦²⁾、
大里和広²⁾、小山理恵²⁾、高橋尚子²⁾、
田中瑞恵²⁾、谷口晴記²⁾、山田里佳²⁾、
桃原祥人²⁾、定月みゆき²⁾、喜多恒和²⁾

- 1) 独立行政法人 国立病院機構 三重中央医療セン
ター
2) 「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コ
ホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならび
に診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

臨床 歯科

P041 新潟県 HIV 感染者等歯科医療ネットワーク

高木律男¹⁾、山田瑛子¹⁾、永井孝宏¹⁾、
茂呂 實²⁾、川口 玲²⁾、須貝 恵^{2,3)}

- 1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科
学分野
2) 新潟大学医歯学総合病院 感染管理部
3) 公益財団法人エイズ予防財団

P042 北陸ブロック HIV 歯科医療ネットワークの現況

宮田 勝¹⁾、高木純一郎¹⁾、釜本宗史¹⁾、
越田美和²⁾、向 真紀²⁾、榎野莉沙²⁾、
宮浦朗子²⁾、渡邊珠代³⁾、高山次代⁴⁾、
辻 典子⁵⁾、秋野憲一⁶⁾、宇佐美雄司⁷⁾

- 1) 石川県立中央病院歯科口腔外科
2) 石川県立中央病院歯科技術室
3) 石川県立中央病院免疫感染症科
4) 石川県立中央病院看護部
5) 石川県立中央病院HIV事務室
6) 札幌市保健福祉局
7) 国立病院機構名古屋医療センター歯科口腔外科

P043 広島大学病院歯科外来における HIV 曝露時の対応について

新谷智章¹⁾、岩田倫幸²⁾、岡田美穂³⁾、山崎尚也^{4,5)}、藤井輝久^{4,5)}、柴 秀樹⁶⁾

- 1) 広島大学病院口腔検査センター
- 2) 広島大学病院歯周診療科
- 3) 広島大学病院歯科衛生部門
- 4) 広島大学病院輸血部
- 5) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 6) 広島大学大学院医系科学研究科歯髄生物学研究室

P049 非英語圏のエイズ患者に対する看護を行った一例

芝田佳香¹⁾、宮崎雅美¹⁾、渡辺美沙¹⁾、武田玲子¹⁾、若松 綾¹⁾、小野恵子⁴⁾、木原久文²⁾、末盛浩一郎²⁾、井門敬子³⁾、中尾 綾⁵⁾、竹中克斗²⁾、高田清式²⁾、山岡多恵¹⁾

- 1) 愛媛大学医学部附属病院 看護部
- 2) 第一内科
- 3) 薬剤部
- 4) 総合診療サポートセンター
- 5) 総合臨床研修センター

臨床 看護

P044 HIV/AIDS コーディネーターナース創世期の患者の要望とコーディネーターナースの活動

八鍬類子^{1,2)}、島田 恵³⁾、石原美和⁴⁾

- 1) 東京医療保健大学千葉看護学部
- 2) 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科
- 3) 首都大学東京人間健康科学研究科看護科学域
- 4) 宮城大学看護学群看護学研究科

P050 A 病院における高齢 HIV/AIDS 患者の今後の療養生活に関する意識調査

宮越郁子¹⁾、村上則子²⁾、多羽田直実¹⁾、白井佐恵子²⁾、杉山ひかる¹⁾、佐々木祐子¹⁾、松田幸恵¹⁾、最上いくみ¹⁾、菅原ひろみ¹⁾

- 1) 北海道公立大学法人 札幌医科大学附属病院
- 2) (前) 北海道公立大学法人 札幌医科大学附属病院

P045 5年間の看護記録のテキストマイニング分析による HIV/AIDS 患者の看護支援の実態（第一報）—患者の療養経過に焦点を当てて—

碓井瑠衣¹⁾、今津陽子¹⁾、松山奈央²⁾、竹林早苗²⁾、青盛真紀¹⁾、渡部節子¹⁾

- 1) 公立大学法人横浜市立大学医学部看護学科
- 2) 公立大学法人横浜市立大学附属病院看護部

P051 粘膜曝露防止のためのフェイスシールド付きマスク使用向上の取組み

藤城弓子

藤田医科大学病院 感染対策室

P046 5年間の看護記録のテキストマイニング分析による HIV/AIDS 患者の看護支援の実態（第二報）—看護師の介入方法の変化に注目して—

竹林早苗¹⁾、松山奈央¹⁾、碓井瑠衣²⁾、今津陽子²⁾、青盛真紀²⁾、渡部節子²⁾

- 1) 公立大学法人横浜市立大学附属病院 看護部
- 2) 公立大学法人横浜市立大学医学部看護学科

P052 臨床看護職による大阪府立 A 高校におけるクラス単位 HIV 予防教育の実践

佐保美奈子¹⁾、古山美穂¹⁾、山田加奈子¹⁾、高 知恵¹⁾、二木貞夫²⁾、土井章裕²⁾、岡本友子³⁾、立花久裕⁴⁾、辻岡舞衣子⁵⁾、北畠朋子⁶⁾、白阪琢磨⁷⁾

- 1) 大阪府立大学大学院看護学研究科
- 2) 大阪府立貝塚高等学校
- 3) 足立病院看護部
- 4) 訪問看護ステーション町の看護師さん八尾
- 5) 国立大阪南医療センター 看護部
- 6) 藍野短期大学看護学科
- 7) 国立大阪医療センター

P047 「蜂窩織炎で入院した HIV 感染患者の一例」～ HIV 感染患者を取り巻く環境の複雑さを感じた症例報告～

湯藤眞子

広島市立広島市民病院

臨床 PEP/nPEP/PrEP

P053 石川県での HIV 曝露後予防薬の整備状況・使用状況

下川千賀子¹⁾、安田明子²⁾、北川恵美子³⁾、渡邊珠代⁴⁾

- 1) 石川県立高松病院薬剤科
- 2) 石川県立中央病院薬剤部
- 3) 石川県健康福祉部健康推進課
- 4) 石川県立中央病院免疫感染症科

P048 適切な受検行動への支援の必要性に関する症例報告

近江谷英理、片井麻美、堤 豊

市立函館病院

臨床 症例報告

**P054 抗 HIV 療法とリハビリテーションにより
著明な ADL 改善が得られ在宅療養が可
能となった進行性多巣性白質脳症の 1 例**

佐久川亮¹⁾、小原沙希子²⁾、藤原佳奈子²⁾、
池田知子²⁾、大森伊久子²⁾、堂垣奈津香³⁾、
鳥越由美恵³⁾、鶴川春佳³⁾、大道淳二⁴⁾、
東郷和美⁵⁾、橘 大輔⁶⁾、森田絢子¹⁾、
中村尚季¹⁾、梅野貴裕¹⁾、塩尻正明¹⁾、
細川 忍¹⁾、別所昭宏¹⁾

1) 岡山赤十字病院 呼吸器内科
2) 看護部
3) リハビリテーション科
4) 薬剤部
5) 精神神経科
6) 医療福祉相談課

**P055 頭部 MRI で小脳、脳幹部に病変が局在し
肺胞低換気を生じた進行性多巣性白質脳
症の 1 剖検例**

下田 学¹⁾、矢崎夏美¹⁾、廣瀬友城¹⁾、
中野滋文¹⁾、諸井文子¹⁾、高杉知明¹⁾、
堀場昌英¹⁾、芳賀孝之²⁾、太田康男³⁾、
末廣大知⁴⁾、高尾昌樹⁵⁾、中道一生⁶⁾、
西條政幸⁶⁾

1) 国立病院機構東埼玉病院 呼吸器科
2) 国立病院機構東埼玉病院 臨床検査科
3) 国立病院機構東埼玉病院 内科
4) 神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 脳神経内
科学分野
5) 埼玉医科大学国際医療センター 神経内科・脳卒中内
科
6) 国立感染症研究所 ウイルス第一部

**P056 前治療無効で glecaprevir+
pibrentasvir 療法により SVR24 が得
られた HIV/HCV (genotype 1a) 重
複感染の 1 例**

服部公紀¹⁾、坂部茂俊²⁾、荒木 潤³⁾、
三宅知宏¹⁾、谷村 学¹⁾

1) 伊勢赤十字病院薬剤部
2) 伊勢赤十字病院感染症内科
3) 伊勢赤十字病院肝臓内科

**P057 非エイズ HIV 感染合併麻疹症例の臨床経
過**

馬渡桃子¹⁾、西川美由紀²⁾、大久保佳代²⁾、
上田晃弘¹⁾

1) 日本赤十字社医療センター感染症科
2) 日本赤十字社医療センター感染管理室

**P058 抗 HIV 療法施行中に次々に自己免疫疾患
を発症した 1 例**

山崎尚也、井上暢子、藤井輝久

広島大学病院輸血部

臨床 HIV 感染症一般・その他

**P059 当院の新規診断 HIV 感染者における診断
時 CD4 陽性 T リンパ球数と血中
HIV-RNA 量の年次推移に関する検討**

渡邊 大^{1,2)}、上平朝子²⁾、鍵浦文子³⁾、
松山亮太⁴⁾、梯 正之³⁾、砂川富正⁵⁾、
白阪琢磨^{2,6)}

1) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエ
イズ先端医療研究部
2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科
3) 広島大学大学院医歯薬保健学研究科健康情報学
4) 広島大学大学院医学系研究科
5) 国立感染症研究所感染症疫学センター
6) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター

**P060 本邦の HIV 感染妊娠の母子調査における
患者報告データを併用したリアルワール
ド情報収集に向けた取り組み**

Ohtsu Hiroshi^{1,2)}、田中瑞恵^{1,2)}、
佐々木泰治¹⁾、北島浩二¹⁾、杉浦 敦²⁾、
吉野直人²⁾、喜多恒和²⁾

1) 国立国際医療研究センター
2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コ
ホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならび
に診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

**P061 千葉県内の HIV 感染症患者の受診行動と
地域医療の課題**

猪狩英俊¹⁾、谷口俊文¹⁾、高柳 晋¹⁾、
矢幅美鈴¹⁾、遠藤千鶴²⁾、古谷佳苗²⁾、
千葉 均^{1,2)}、柴田幸治³⁾、築地茉莉子⁴⁾、
鈴木貴明⁴⁾、葛田衣重⁵⁾

1) 千葉大学医学部附属病院 感染制御部
2) 千葉大学医学部附属病院 看護部
3) 千葉感染制御研究所
4) 千葉大学医学部附属病院 薬剤部
5) 千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部

P062 愛媛県における訪問看護師に対する実地研修の現状

若松 綾¹⁾、武田玲子¹⁾、芝田佳香¹⁾、
宮崎雅美¹⁾、藤原光子¹⁾、小野恵子²⁾、
中尾 綾³⁾、乗松真大⁴⁾、木村博史⁴⁾、
末盛浩一郎³⁾、井門敬子⁴⁾、山岡多恵¹⁾、
高田清式⁵⁾

- 1) 愛媛大学医学部附属病院看護部
- 2) 愛媛大学医学部附属病院総合診療サポートセンター
- 3) 愛媛大学医学部附属病院第一内科
- 4) 愛媛大学医学部附属病院薬剤部
- 5) 愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター

P063 軽度栄養不良の疑われる HIV 陽性者に対する栄養介入の影響

庄司久美子¹⁾、白野倫徳²⁾、笠松 悠³⁾、
市田裕之²⁾、豊島裕子²⁾、後藤哲志²⁾、
羽生大記⁴⁾

- 1) 女子栄養大学栄養学部
- 2) 大阪市立総合医療センター感染症内科
- 3) 京都府立医科大学附属病院感染症科
- 4) 大阪市立大学生生活科学研究科

P064 高速液体クロマトグラフィー - 蛍光検出器による第二世代 HIV インテグラーゼ阻害剤の血中濃度測定法の確立

中田佳宏^{1,2)}、松岡和弘¹⁾、平野 淳³⁾、
大出裕高¹⁾、今橋真弓¹⁾、蜂谷敦子¹⁾、
中井正彦³⁾、横幕能行¹⁾、岩谷靖雅^{1,2)}

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター
- 2) 名古屋大学大学院医学系研究科
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター 薬剤部

P065 本邦初の HIV-2 サブタイプ A インド流行株症例

明石直樹¹⁾、柳澤邦雄²⁾、助川明香³⁾、
重見 麗³⁾、蜂谷敦子³⁾、岩谷靖雅³⁾、
小磯博美²⁾、徳江 豊²⁾、内田 梓⁴⁾、
須藤千秋⁴⁾、村上正巳⁴⁾、小川孔幸¹⁾、
半田 寛¹⁾

- 1) 群馬大学医学部附属病院 血液内科
- 2) 群馬大学医学部附属病院 感染制御部
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター・免疫研究部
- 4) 群馬大学医学部附属病院 検査部

臨床 アンコール演題

P066 Archived M184V/I or TAMs and Efficacy of Bictegravir/Emtricitabine/Tenofovir Alafenamide (B/F/TAF) in HIV-1 RNA-Suppressed Patients Switching to B/F/TAF

Kristen Andreatta、
Madeleine Willkom、Ross Martin、
Silvia Chang、Rima Acosta、
Hiba Graham、Hal Martin、
Ayako Nakase、Damian McColl、
Kristen White

Gilead Sciences

P067 96 Week (W96) Efficacy and Safety of Bictegravir/Emtricitabine/Tenofovir Alafenamide (B/F/TAF) in Treatment-Naive (TN) Adults $\geq$ 50 years (yr)

Samir Gupta¹⁾、Cynthia Brinson²⁾、
Kim Workowski³⁾、Amanda Clarke⁴⁾、
Ellen Koenig⁵⁾、David Asmuth⁶⁾、
Jurgen Rockstroh⁷⁾、Mingjin Yan⁸⁾、
Sean Collins⁸⁾、Ayako Nakase⁸⁾、
Yo Hoshino⁸⁾、Diana Brainard⁸⁾

- 1) Indiana University
- 2) Central Texas Clinical Research
- 3) Emory University
- 4) Royal Sussex County Hospital
- 5) IDEV: Instituto Dominicano de Estudios Virologicos
- 6) University of California, Davis
- 7) University Hospital Bonn
- 8) Gilead Sciences

P068 Study 4030: High Level of Pre-existing NRTI Resistance (-R) prior to Switching to Bictegravir/Emtricitabine/Tenofovir Alafenamide Fumarate (B/F/TAF)

Rima K. Acosta、Madeleine Willkom、
Kristen Andreatta、Hui Liu、
Ross Martin、Silvia Chang、
Hal Martin、Sean Collins、
Ayako Nakase、KuanYeh Lee、
Kristen White

Gilead Sciences

- P069** Phase 3b Study Switching from E/C/F/TAF or TDF-based Regimen to Bictegravir/ Emtricitabine/Tenofovir Alafenamide (B/F/TAF) in Suppressed Adults ≥ 65 yrs
Franco Maggiolo¹⁾、Giuliano Rizzardini²⁾、Jean-Michel Molina³⁾、Federico Pulido⁴⁾、Stephane De Wit⁵⁾、Linos Vandekerckhove⁶⁾、Juan Berenguer⁷⁾、Chris Blair⁸⁾、Susan Chuck⁸⁾、David Piontkowsky⁸⁾、Hal Martin⁸⁾、Ian Mc Nicholl⁸⁾、Richard Haubrich⁸⁾、Ayako Nakase⁸⁾、Joel Gallant⁸⁾
1) Division of Infectious Diseases, ASST Papa Giovanni XXIII
2) Division of Infectious Diseases, Luigi Sacco Hospital, ASST Fatebenefratelli Sacco
3) Department of Infectious Diseases, Saint Louis Hospital, University Paris Diderot
4) Unidad VIH, Hospital Universitario 12 de Octubre, imas12, UCM
5) St Pierre University Hospital, Universite Libre de Bruxelles, Brussels
6) University Hospital Ghent
7) Infectious Diseases, Hospital General Universitario Gregorio Marañon (IISGM)
8) Gilead Sciences

- P070** Antiviral Activity of Tenofovir Alafenamide against HIV-1 Harboring K65R
Stephanie Cox、Nicolas Margot、Renee Ram、Ayako Nakase、Keisuke Harada、Christian Callebaut
Gilead Sciences

- P071** 腸管遊走性 CD4+T 細胞と HIV 患者の胃炎の活動性と関連する
安達英輔¹⁾、佐藤秀憲¹⁾、城戸康年²⁾、大田泰徳³⁾、松原康郎⁴⁾、松本 昂⁵⁾、池内和彦¹⁾、古賀道子¹⁾、堤 武也¹⁾、たちかわあい⁶⁾、俣野哲郎⁶⁾、平田善裕⁴⁾、山岡吉生⁵⁾、四柳 宏¹⁾
1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
2) 大阪市立大学大学院医学研究科 都市医学講座寄生虫学
3) 東京大学医科学研究所附属病院病理部
4) 東京大学医科学研究所先端ゲノム医学分野
5) 大分大学環境・予防医学講座
6) 国立感染症研究所エイズ研究センター

- P072** Prevalence of neuropsychiatric conditions among HIV positive compared to HIV negative commercially insured individuals in 2017
Joshua Cohen¹⁾、Anne Beaubrun²⁾、Ken Hasegawa³⁾、Rolin Wade⁴⁾、Dionne M. Hines⁴⁾
1) Tufts University, Boston, MA USA
2) Gilead Sciences Inc, Foster City, CA, USA
3) Gilead Sciences K.K, Tokyo, Japan
4) IQVIA, Plymouth Meeting, PA USA

- P073** Incidence and Risk of Major Depression and Suicidal Ideation in US Veterans with and without HIV
SS Sutton^{1,2)}、J Magagnoli²⁾、JW Hardin^{2,3)}、A Beaubrun⁴⁾、L Hsu⁴⁾、K Hasegawa⁵⁾、B Edun²⁾
1) Department of Clinical Pharmacy and Outcomes Sciences, University of South Carolina, College of Pharmacy, Columbia, South Carolina.
2) WJB Dorn Veterans Affairs Medical Center, Dorn Research Institute, Columbia, South Carolina.
3) Department of Epidemiology and Biostatistics, University of South Carolina, Norman J. Arnold School of Public Health, Columbia, South Carolina.
4) Gilead Sciences Inc, Foster City, CA, USA
5) Gilead Sciences K.K, Tokyo, Japan

- P074** Real-world Persistence for Newly Prescribed HIV-1 Treatment: Single Versus Multiple Tablet Regimen Comparison
Joshua Cohen¹⁾、Anne Beaubrun²⁾、Ken Hasegawa³⁾、Richa Bashyal⁴⁾、Ahong Huang⁴⁾
1) Tufts University, Boston, MA, USA
2) Gilead Sciences Inc, Foster City, CA, USA
3) Gilead Sciences K.K, Tokyo, Japan
4) STATinMED Research, Ann Arbor, MI, USA

P075 Estimation of the Incremental Lifetime Cost of HIV Compared to a HIV-Uninfected Population

Joshua Cohen¹⁾、Anne Beaubrun²⁾、Ken Hasegawa³⁾、Yao Ding⁴⁾、Dionne M. Hines⁴⁾

1) Tufts University, Boston, MA USA

2) Gilead Sciences Inc, Foster City, CA, USA

3) Gilead Sciences K.K, Tokyo, Japan

4) IQVIA, Plymouth Meeting, PA, USA

P076 Week 96 AMBER results: once-daily darunavir/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide (D/C/F/TAF) single-tablet regimen in treatment-naïve HIV-1 patients

Chloe Orkin¹⁾、Noriyuki Habuka²⁾、Joseph J. Eron³⁾、Jurgen Rockstroh⁴⁾、Daniel Podzamczar⁵⁾、Stefan Esser⁶⁾、Linos Vandekerckhove⁷⁾、Erika Van Landuyt⁸⁾、Erkki Lathouwers⁸⁾、Veerle Hufkens⁸⁾、John Jezorwski⁹⁾、Magda Opsomer⁸⁾

1) Blizzard Institute, Barts and The London School of Medicine and Dentistry, Queen Mary University, London, UK

2) Janssen Pharmaceutical K.K. Japan

3) The University of North Carolina School of Medicine, Chapel Hill, NC, USA

4) Universitätsklinikum Bonn, Bonn, Germany

5) IDIBELL-Hospital Universitari de Bellvitge, L'Hospitalet, Barcelona, Spain

6) University Hospital Essen, Essen, Germany

7) Ghent University and Ghent University Hospital, Ghent, Belgium

8) Janssen Pharmaceutica NV, Beerse, Belgium

9) Janssen Research & Development, Pennington, NJ, USA

P077 Week 96 EMERALD results: darunavir/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide (D/C/F/TAF) QD single-tablet regimen in virologically suppressed HIV patients

Joseph J. Eron¹⁾、Koichi Hasegawa²⁾、Chloe Orkin³⁾、Douglas Cunningham⁴⁾、Federico Pulido⁵⁾、Frank Post⁶⁾、Stephane De Wit⁷⁾、Erkki Lathouwers⁸⁾、Veerle Hufkens⁸⁾、John Jezorwski⁹⁾、Kimberley Brown⁸⁾、Erika Van Landuyt⁸⁾、Magda Opsomer⁸⁾

1) The University of North Carolina School of Medicine, Chapel Hill, NC, USA

2) Janssen Pharmaceutical K.K., Japan

3) Queen Mary University, London, UK

4) Pueblo Family Physicians, Phoenix, AZ, USA

5) HIV Unit, Hospital 12 de Octubre, Madrid, Spain

6) King's College Hospital NHS Foundation Trust, London, United Kingdom

7) Saint-Pierre University Hospital, Université Libre de Bruxelles, Brussels, Belgium

8) Janssen Pharmaceutica NV, Beerse, Belgium

9) Janssen Research & Development, Pennington, NJ, USA

座長 前田洋助

熊本大学大学院 生命科学研究部 微生物学分野

座長 原田恵嘉

国立感染症研究所エイズ研究センター

基礎 複製

P078 HiBiT ペプチドタグを利用した超迅速 HIV-1 定量系の樹立

大園誠也^{1,2)}、張 延昭¹⁾、飛梅 実¹⁾、
岸上哲士²⁾、徳永研三¹⁾

1) 国立感染症研究所 感染病理部

2) 山梨大学 生命環境学

基礎 宿主因子

P079 生体内で選択される Nef 変異が SERINC3/5 阻害活性に与える影響の解析

豊田真子¹⁾、Doreen Kamori¹⁾、大橋 順²⁾、
立川(川名)愛³⁾、瀧永博之^{1,4)}、岡 慎一^{1,4)}、
Massimo Pizzato⁵⁾、上野貴将¹⁾

1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

2) 東京大学

3) 国立感染症研究所エイズ研究センター

4) 国立国際医療研究センター

5) Centre for Integrative Biology, University of Trento, Italy

基礎 構造

P080 薬剤耐性 HIV-1 インテグラーゼは HIV-1 RNA の結合を強化し、ヌクレオカプシドと HIV-1 粒子形成に関係している

中村朋文¹⁾、天野将之¹⁾、Travis Chia³⁾、
松岡雅雄^{1,3)}、満屋裕明^{1,2)}、中田浩智¹⁾

1) 熊本大学大学院生命科学研究部血液、膠原病、感染症内科

2) 国際医療研究センター・難治性ウイルス感染症

3) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所ウイルス制御分野

P081 HIV-1 エンベロープにおける脆弱部位の推定

横山 勝¹⁾、小谷 治¹⁾、土肥直哉²⁾、
駒 貴明²⁾、野間口雅子²⁾、佐藤裕徳¹⁾

1) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

2) 徳島大学大学院医歯薬学研究部

基礎 感染機構

P082 RNA-Seq Analysis of Chronically HIV-1-Infected Cells to Uncover the Possible Mechanisms of Clonal Expansion and Proviral Latency

Benjy Jek Yang Tan^{1,2,3)}、
Saori Iwase⁴⁾、
Islam Mohammad Saiful^{1,2,3)}、
Eriko Kudo⁵⁾、Hiroo Katsuya⁶⁾、
Paola Miyazato¹⁾、Kouki Matsuda⁷⁾、
Kenji Maeda⁷⁾、Seiji Okada⁸⁾、
Shuzo Matsushita⁹⁾、
Yorifumi Satou^{1,2)}

1) Division of Genomics & Transcriptomics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

2) Laboratory of Retroviral Genomics & Transcriptomics, International Research Center for Medical Sciences, Kumamoto University

3) Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University

4) Institute of Infectious Disease & Molecular Medicine, University of Cape Town

5) Department of Immunobiology, Yale University School of Medicine, New Haven, Connecticut

6) Division of Hematology, Respiratory Medicine & Oncology, Saga University

7) Department of Refractory Viral Infection, National Center for Global Health & Medicine Research Institute, Tokyo

8) Division of Hematopoiesis, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

9) Division of Clinical Retrovirology, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

P083 Insertional mutagenesis of the distal C-terminal heptad repeat (CHR) of the HIV-1 gp41 subunit

Hongyun Wang¹⁾、Jiping Song¹⁾、
Yasushi Kawaguchi^{2,3)}、
Jun-ichiro Inoue^{2,4)}、Zene Matsuda^{1,2)}

1) Laboratory of Structural Virology and Immunology, Institute of Biophysics, Chinese Academy of Sciences

2) Research Center for Asian Infectious Diseases, Institute of Medical Science, The University of Tokyo

3) Division of Molecular Virology, Department of Microbiology and Immunology, Institute of Medical Science, The University of Tokyo

4) Division of Cellular and Molecular Biology, Department of Cancer Biology, Institute of Medical Science, The University of Tokyo

基礎 免疫

- P084** Anti-idiotypic antibodies of neutralizing antibodies targeting CD4-induced (CD4i) epitope on HIV-1 gp120

Shashwata Biswas, Kazuki Tanaka, Yu Kaku, Takeo Kuwata, Shuzo Matsushita

Clinical Retrovirology Laboratory, Joint Research Center for Human Retroviral Infection, Kumamoto University

- P085** リンパ組織における SIV 潜伏感染細胞排除の可能性

升田雄士^{1,2)}、高濱正吉¹⁾、岡村智崇³⁾、伊勢知子⁴⁾、永田諭志⁴⁾、保富康宏³⁾、山本拓也^{1,2,5)}

- 1) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 免疫老化プロジェクト
- 2) 大阪大学大学院 薬学研究科 免疫老化制御学分野
- 3) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医科学研究センター
- 4) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 抗体スクリーニングプロジェクト
- 5) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

- P086** SIV escape mutations in CD8⁺ T-cell epitopes in MHC-I haplotype 90-120-1a (+) progressors

Afia Asante Ntim^{1,2,4)}、Takushi Nomura²⁾、Hiroshi Ishii²⁾、Tetsuro Matano^{1,2,3)}

- 1) Graduate School of Medical Sciences and Joint Research Centre for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan
- 2) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan
- 3) Institute of Medical Science, University of Tokyo, Japan
- 4) Noguchi Memorial Institute of Medical Research, University of Ghana- Legon

- P087** AlphaScreenによる抗イディオタイプ抗体を用いた抗 V3 抗体検査手法の検討

下川琢也、郭 悠、桑田岳夫、松下修三

熊本大学臨床レトロウイルス学共同研究センター臨床レトロウイルス学分野

- P088** IMPACT OF HIV INFECTION AND ANTIRETROVIRAL THERAPY ON THE GUT MICROBIOTA AMONG HIV-INFECTED CHILDREN IN VIETNAM

Quynh Nguyen¹⁾、Azumi Ishizaki¹⁾、Xiuqiong Bi¹⁾、Kazunori Matsuda²⁾、Hiroshi Ichimura¹⁾

- 1) Department of Viral Infection and International Health, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University
- 2) Yakult Central Institute

基礎 動物モデル

- P089** Neutralization sensitive SHIV gain neutralization resistance with only 2 mutation in gp120 V2 area.

Yalcin Pisil¹⁾、Zafer Yazici²⁾、Hisatoshi Shida³⁾、Shuzo Matsushita⁴⁾、Tomoyuki Miura¹⁾

- 1) Laboratory of Primate Model, Research Center for Infectious Diseases, Institute for Frontier Life and Medical Science, Kyoto University
- 2) Department of Virology, Faculty of Veterinary Medicine, 19 Mayis University, Samsun, Turkey
- 3) Division of Molecular Virology, Institute of Immunological Science, Hokkaido University, Sapporo, Japan
- 4) Center for AIDS Research, Kumamoto University, Japan

- P090** Epitope-specific CD8⁺ T cells in neutralizing antibody-infused SIV controllers

Thi Thu Trang Hau^{1,2)}、Yoshiaki Kanno³⁾、Takushi Nomura¹⁾、Tetsuro Matano^{1,2,3)}、Hiroyuki Yamamoto¹⁾

- 1) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan
- 2) Graduate School of Medical Sciences and Joint Research Centre for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan
- 3) Institute of Medical Science, University of Tokyo, Japan

基礎 新薬開発

P091 Determining the Mechanism of a Possible HIV-1 Uncoating Inhibitor Targeting Capsid: ACAi-028

Travis Chia, Masayuki Amano, Tomofumi Nakamura, Hiroto Nakata, Masao Matsuoka
Kumamoto University

P092 PKC 活性化剤と BET 阻害剤の併用による HIV 再活性化能及び毒性への効果

鷺崎彩夏¹⁾、村田めぐみ¹⁾、関 洋平¹⁾、Yin Pui Tang¹⁾、Weikeat Tan¹⁾、入江一浩²⁾、明里宏文^{1,3)}

1) 京都大学霊長類研究所
2) 京都大学 大学院農学研究科
3) 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所

P093 HIV-1 capsid (CA) 構造蛋白に作用し、その過剰安定化を誘導する事で HIV-1 増殖阻害活性を発揮する化合物群の同定

天野将之¹⁾、中村朋文¹⁾、Pedro Miguel Salcedo Gomez¹⁾、趙 睿¹⁾、中田浩智¹⁾、宮川寿一¹⁾、Travis Chia Ren Teen¹⁾、松岡雅雄¹⁾、満屋裕明^{1,2)}

1) 熊本大学医学部 血液・膠原病・感染症内科
2) 国立国際医療研究センター研究所

P094 HIV-1 潜伏感染プロウイルスの再活性化を誘導するlatency reversing agent (LRA) 候補薬の探索

合田 仁^{1,2)}、Ni Jing²⁾、Xiyao Wang²⁾、鈴木一雄³⁾、井上純一郎^{1,4)}、川口 寧^{1,5)}、石田尚臣^{1,2)}

1) 東京大学医科学研究所アジア感染症研究拠点
2) 中国科学院微生物研究所日中連携研究室
3) シドニーセントビンセント応用医科学研究センター、ニューサウスウェールズ州立 HIV リファレンス研究室
4) 東京大学医科学研究所癌細胞増殖部門分子発癌分野
5) 東京大学医科学研究所感染免疫部門ウイルス病態分野

基礎 薬剤耐性

P095 PPT 領域内におけるドルテグラビル耐性関連変異の同定

久保田舞¹⁾、蜂谷敦子¹⁾、大出裕高¹⁾、重見 麗¹⁾、岡崎玲子¹⁾、松田昌和¹⁾、今橋真弓¹⁾、Karen A. Kirby²⁾、Stefan G. Sarafianos²⁾、横幕能行¹⁾、岩谷靖雅¹⁾

1) (独) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター
2) Laboratory of Biochemical Pharmacology, Department of Pediatrics, Emory University School of Medicine

基礎 抗 HIV 療法

P096 Establishment of a simple culture model for the role of tunneling nanotubes (TNTs) in inter-cellular spread of HIV-1

Sameh Lotfi, Osamu Noyori, Hesham Nasser, Shinya Suzu

Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

P097 Molecular mechanisms of Interleukin-32 γ - mediated anti-HIV activity in macrophages

Omnia R. Abdelrahman^{1,3)}、Shinya Suzu¹⁾、Jun-ichi Sakuragi²⁾

1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan
2) Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, Japan
3) Department of Microbiology, High Institute of Public Health, Alexandria University, Egypt

P098 Isolation of a monoclonal antibody from a patient infected with HIV-1 subtype AG

Hasan MD Zahid, Takeo Kuwata, Yu Kaku, Kazuki Tanaka, Shokichi Takahama, Shuzo Matsushita

Clinical Retrovirology Lab, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

P099 HIV-1 Gag タンパク質を標的とした薬剤スクリーニングシステムの開発

門出和精¹⁾、立石 大²⁾、吉田知史¹⁾、
寺沢広美¹⁾、藤田美歌子²⁾、澤 智裕¹⁾、
前田洋助¹⁾

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部微生物学分野
2) 熊本大学大学院生命科学研究部 サイエンスファーム 生体機能化学共同研究講座

基礎 分子疫学

P100 サブタイプCRF01_AEにおける国内伝播クラスタの2011年から16年の動向

大谷眞智子¹⁾、椎野禎一郎¹⁾、近藤真規子²⁾、
蜂谷敦子³⁾、菊地 正¹⁾、俣野哲朗¹⁾

- 1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
2) 神奈川県衛生研究所微生物部
3) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター

P101 日本で流行している HIV-1 CRF01_AE の分子疫学的特徴の解析

近藤真規子¹⁾、佐野貴子¹⁾、長島真美²⁾、
貞升健志²⁾、蜂谷敦子³⁾、瀧永博之⁴⁾、
吉村幸浩⁵⁾、立川夏夫⁵⁾、岩室紳也⁶⁾、
井戸田一朗⁷⁾、今井光信⁸⁾、加藤真吾⁹⁾、
椎野貞一郎¹⁰⁾、吉村和久¹⁰⁾、菊地 正¹⁰⁾

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部
2) 東京都健康安全研究センター
3) (独) 名古屋医療センター
4) 国立国際医療研究センター
5) 横浜市立市民病院
6) 厚木市立病院
7) しらかば診療所
8) 田園調布学園大学
9) 株式会社ハナ・メディテック
10) 国立感染症研究所

P102 HIV integrase genotypes circulating in Tanzania: Implication to efficacy of inhibitors regimen

Doreen Kamori¹⁾、Salim Masoud¹⁾、
Godfrey Barabona²⁾、
Macdonald Mahiti¹⁾、
Bruno Sunguya^{1,2)}、
Eligius Lyamuya^{1,2)}、Takamasa Ueno²⁾

- 1) Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Tanzania
2) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

P103 Characterization of Currently Circulating HIV-1 Envelope Sequences in Tanzania

George Judicate¹⁾、
Godfrey Barabona¹⁾、
Macdonald Mahiti²⁾、Salim Masoud²⁾、
Doreen Kamori²⁾、
Amina Shaban Mgunya³⁾、
Takeo Kuwata¹⁾、Bruno Sunguya^{1,2)}、
Eligius Lyamuya^{1,2)}、Takamasa Ueno¹⁾

- 1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
2) Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Tanzania
3) Muhimbili National Hospital, Tanzania

基礎 悪性腫瘍

P104 Acanthoic acid inhibited PEL cell proliferation and induced apoptosis through c-FLIP downregulation

Gunya Sittithumcharee、
Ryusho Kariya、Seiji Okada

Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan

一般演題 (ポスター)

社会 教育

P105 高等学校 1 年次生を対象としたエイズ予防啓発活動

松原 誠¹⁾、伊藤公人²⁾、住友伸一郎¹⁾

1) 朝日大学歯学部口腔病態医療学講座口腔外科学分野
2) 社会医療法人宏潤会大同病院 血液・化学療法内科

P106 青森県内高校生のエイズ・性感染症に対する意識調査ー 医療・行政・教育・マスメディアの連携による予防啓発事業の普及効果 ー

久保恒明¹⁾、穴倉慎次²⁾、里村智彦³⁾、
谷地村克久⁴⁾、原田邦弘⁵⁾、佐藤伸代⁵⁾、
秋元典子⁵⁾、小笠原典⁶⁾、下山広樹⁷⁾

1) 青森県立中央病院血液内科
2) 青森県高等学校長協会
3) 青森県私立中学高等学校長協会
4) 青森県教育庁スポーツ健康課
5) 青森県健康福祉部保健衛生課
6) 青森県健康福祉部医療業務課
7) 東青地域県民局地域健康福祉部保健総室

社会 予防・検査・相談

P107 HIV 検査陽性告知時面接記録から考える保健指導の在り方について

西田彩夏¹⁾、大石めぐみ²⁾、安井典子¹⁾、
田島 結¹⁾、松田利花¹⁾、真田理恵³⁾、
友田桐子¹⁾、青木理恵子⁴⁾、平 寛子⁴⁾、
オンバダ香織⁴⁾、山中京子⁵⁾、半羽宏之⁶⁾

1) 大阪市北区保健福祉センター
2) 大阪市健康局健康推進部
3) 大阪市東淀川区役所
4) NPO 法人 CHARM
5) 大阪府立大学
6) 大阪市保健所

P108 大阪検査相談・啓発・支援センターにおける「女性スタッフによる女性のためのレディースデー」取り組み

毛受矩子、高野正子、来住知美

特定非営利活動法人、スマートらいふネット

P109 エイズ中核拠点病院相談員研修会の成果と課題ーこれまでの取り組みと今後についてー

高田知恵子¹⁾、長浦由紀²⁾、嶋 篤子³⁾

1) 大妻女子大学人間関係学部
2) 長崎大学病院
3) 滋賀医科大学付属病院

社会 薬害

P110 薬害被害者の心理的支援方法の検討ー被害者で終われない、前向きな人生の生きなおしのきっかけー

早坂典生¹⁾、山田富秋²⁾、橋本 謙³⁾、
種田博之⁴⁾、入江恵子⁵⁾、小川良子⁶⁾、
宮本哲雄⁷⁾

1) 特定非営利活動法人りょうちゃんず
2) 松山大学
3) 愛知県岐阜県スクールカウンセラー
4) 産業医科大学
5) 九州国際大学
6) 看護師
7) 国立病院機構大阪医療センター

P111 薬害 HIV 感染被害患者における長期療養への支援提言 (第一報)ー現状の取り組みと今後の支援課題について

柿沼章子、久地井寿哉、岩野友里、武田飛呂城、
大平勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団

P112 薬害 HIV 感染被害患者における長期療養への支援提言 (第四報)ー居住モデル調査の取り組みと課題

武田飛呂城、久地井寿哉、柿沼章子、岩野友里、
大平勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団

社会 陽性者支援

P113 血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病患者の精神的問題とその関連要因ー性感染等による HIV 感染患者との比較ー

小松賢亮¹⁾、今井公文²⁾、木村聡太¹⁾、
霧生瑤子¹⁾、渡邊愛祈³⁾、木内 英⁴⁾、
小形幹子¹⁾、大金美和¹⁾、藤谷順子⁵⁾、
菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター
2) 筑波大学附属病院 日立社会連携教育研究センター
3) 東京都立小児総合医療センター
4) 東京医科大学病院 臨床検査医学科
5) 国立国際医療研究センター病院 リハビリテーション科

P114 就労支援ーソーシャルワーカー・カウンセラー協働による事例の報告ー

青野加奈子、山下美津江、望月真奈美、
鳥越彩英子、川畑良裕、高山次世

石川県立中央病院

P115 当院の HIV 感染症通院患者における精神科受診の現状と課題

飯塚暁子¹⁾、藤原千尋¹⁾、村上由佳¹⁾、
門田悦子¹⁾、三笠かおる¹⁾、大島瑞穂¹⁾、
松井綾香¹⁾、野村直幸¹⁾、木梨貴博¹⁾、
齊藤誠司¹⁾、坂田達朗¹⁾、和田秀穂²⁾

1) 国立病院機構 福山医療センター
2) 川崎医科大学 血液内科学

P116 群馬県における HIV 歯科診療連携事業の現状報告～患者アンケート結果より～

手嶋千とせ¹⁾、中村聡洋¹⁾、石崎芳美¹⁾、
柳澤邦雄³⁾、小川孔幸²⁾、内藤千晶²⁾、
樋口裕哉⁴⁾、城田陽子⁵⁾、合田 史⁶⁾、
内海英貴⁷⁾、下山田めぐみ⁸⁾、櫻井昇幸⁸⁾、
大谷忠広¹⁾、半田 寛²⁾

1) 群馬大学医学部附属病院 看護部
2) 群馬大学医学部附属病院 血液内科
3) 群馬大学医学部附属病院 感染制御部
4) 群馬大学医学部附属病院 薬剤部
5) 群馬大学医学部附属病院 医事課（エイズ予防財団）
6) 国立病院機構 高崎総合医療センター 総合診療科
7) 医療法人社団日高会 白根クリニック
8) 群馬県健康福祉部保健予防課感染症対策係

社会 在宅療養支援

P117 訪問看護師を利用した HIV 感染症患者の在宅療養支援の傾向

池田和子、杉野祐子、谷口 紅、鈴木ひとみ、
阿部直美、紅粉真衣、大杉福子、栗田あさみ、
大金美和、菊池 嘉、岡 慎一

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ
治療・研究開発センター

P118 HIV 感染症患者在在宅医療にて受け入れた試み

辻川昭仁¹⁾、一木昭人²⁾

1) 医療法人社団 仁真会 辻川ホームクリニック
2) 東京医科大学病院臨床検査医学科

P119 認知機能障害を呈し家族のサポート力が脆弱な HIV 陽性者の通院の現状と課題

高山次代、浅田裕子、鳥越彩英子、望月真奈美、
山下美津江、齊藤千鶴、小谷岳春、渡邊珠代

石川県立中央病院免疫感染症科

社会 その他

P120 第 32 回日本エイズ学会総会でのアンケート調査結果からの推考と考察

中川あゆみ、横山次郎、松山理恵子

公益財団法人日本健康・栄養食品協会 日本食品保健指導
士会

P121 HIV 感染症について捉え方の観点からの検討～サンフランシスコ訪問より

釜本宗史¹⁾、渡邊珠代²⁾、影向 晃³⁾、
水野真介⁴⁾、遠藤愛樹⁵⁾、高木純一郎¹⁾、
宮田 勝¹⁾

1) 石川県立中央病院歯科口腔外科
2) 石川県立中央病院免疫感染症科
3) 新潟市民病院呼吸器内科・感染症内科
4) 日本赤十字社和歌山医療センター感染症内科・小児科
5) 山梨県立中央病院薬剤部

P122 当地域における一般人の針刺し事故

片井麻美¹⁾、木村 繭¹⁾、山下恵子²⁾、堤 豊¹⁾

1) 市立函館病院
2) 内科高橋清にクリニック